パロマガス風呂給湯暖房システム

オートタイプ

DH-GE2415APZL

エコジョーズ

取扱説明書 BL認定部品 保証書付

このたびはガス風呂給湯暖房システムをお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、十分に理解したうえで正しくご使用ください。
このガス風呂給湯暖房システムには保証書が付いています。内容をよくご確認ください。
この取扱説明書は、いつでもご覧になれる身近なところへ大切に保管してください。
取扱説明書を紛失された場合は、お買い上げの販売店かパロマへご連絡ください。
その際、機器本体の銘板をご覧のうえ、品名・製造年月をお知らせください。

Paloma

もくじ ページ

ご利用の前に
製品の特長……1
安全に正しくお使いいただくために……2
この取扱説明書の表示について……2
機器本体の表示について……2
必ずお守りください……3
各部の名称とはたらき……9
ご利用前の準備……13
機器の準備……13
現在時刻を合わせる……14
音量を変更するには……15
音量を変更する……15

基本の使い方
お湯
ふろ
暖房
お湯を使うには……16
お湯を使用する……16
ふろリモコンを優先にする……18
給湯リモコンを優先にする……18
自動でおふろを沸かすには……19
ふろ自動運転をする……19
沸かし直しをするには……20
ふろ温度・ふろ水位・保温時間を変更するには・21
ふろ温度の設定……21
ふろ水位の設定……21
保温時間の設定……22
おふろが沸く時刻を予約するには……23
予約運転をする……23
おふろのお湯を熱くするには……25
追いだき運転をする……25
おふろのお湯をぬるくするには……26
ぬるく運転をする……26
おふろのお湯を増やしたいときには……27
たし湯運転をする……27
暖房静音について……28
暖房静音の設定……28
暖房静音の解除……28

便利な使い方
省電力機能について……29
省電力の解除……29
省電力の設定……29
知っていると便利な機能……30
キッチンタイマーを使用する……30
手動配管クリーンをする……31
機能の設定を変更する……32
給湯優先に変更する……32

エネルック
エネルック……33
エネルギーメーターを表示する……35
エネルックを見る……36
料金単価・目標を設定する……37
CO2排出係数と達成度表示を設定する……39
日数の初期化をする……41
データの初期化をする……41

長くお使いいただくために
冬期の凍結予防をするには……42
凍結予防装置による方法……42
給湯栓の水を流す方法……42
機器の水を抜く方法……43
不凍液による方法……45
再使用するとき……45
凍結してしまったとき……46
点検のポイント・お手入れのしかた……47
点検のポイント(月1回程度)……47
お手入れのしかた(月1回程度)……47
定期点検のおすすめ(有料)……47
循環口フィルターの掃除(こまめに掃除)……48
給水口フィルターの掃除……48
点検・お手入れ後の確認……48
故障かな?と思ったら……49
こんなときは故障ではありません……50
エラーコード表示について……51
仕様一覧……52
アフターサービスについて……53
保証書……55

製品の特長

快適な「お湯のある暮らし」のための便利な機能を豊富に揃えました。どうぞお役立てください。

■潜熱回収型(高効率)のガス風呂給湯暖房システムです

従来捨てていた一次熱交換器の約200℃の排気ガスを二次熱交換器で回収、水を予備加熱します。
熱効率が約95%と高いので、ガスをより効果的に使え、環境面でもCO_2削減に貢献します。

ドレン水が出ます

二次熱交換器で回収された排気ガス中の水蒸気が熱を奪われ、凝縮(水蒸気が水に戻る)して凝縮水(ドレン水)が生成されます。このドレン水は排気ガス中のNOxが溶け込むため酸性水になりますが、機器内のドレン中和タンクで中和して排出します。

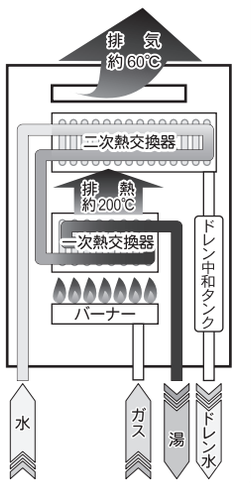
ドレン水は使用中、常時排水されます

この機器のドレン水は機器の使用中に発生したドレン水を常時排出します。ドレン水はドレン排出配管を通り、機器外へ排出されます。

白い湯気が出やすくなります

二次熱交換器で回収された排気ガスは熱を奪われ、温度が低く水分を多く含んでいます。この排気ガスが外気に触れると結露し、白い湯気に見えます。

[高効率の仕組み]



便利です!

◆おふろもシャワー・給湯も暖房も、これ1台でOK。

◆**ふろ自動**ボタンを押すだけの簡単操作でおふろが沸かせます。

快適です!

◆おふろのお湯の温度を自動的に保温します。
湯はりが完了するとそのまま自動で保温しますので、
いつも快適なおふろです。

◆ふろ配管をきれいにします。
ふろ配管の残り湯を、きれいなお湯約6リットルで流して浴槽の循環口から排出します。

※ふろ配管内の残り湯を流しだす際には、ポンプの回る音がしますが故障ではありません。

環境にもやさしい!

◆リモコンは待機時の消費電力を低減するため、未使用時に画面表示を消す、省電力機能付きです。

安全に正しくお使いいただくために

■この取扱説明書の表示について

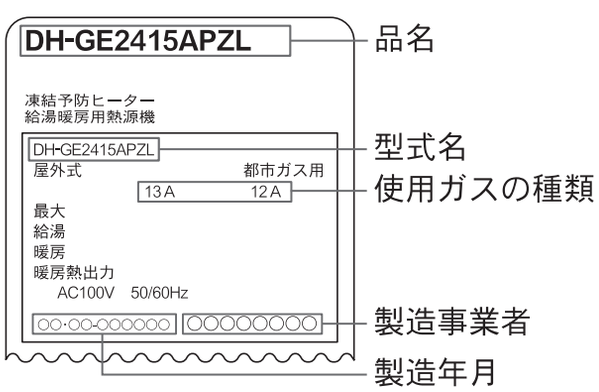
この取扱説明書では、機器を正しくお使いいただき万一の事故を未然に防ぐため、以下のような表示で注意を呼びかけています。

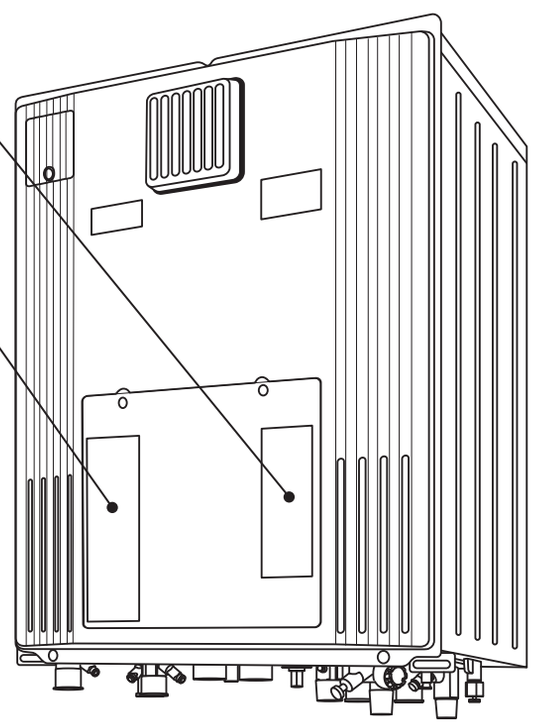
⚠危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	ご使用になるときに、よく理解していただきたい内容を示しています。
(→P.XX)	参照ページを示しています。

■機器本体の表示について

銘板
●品名・型式名・使用ガスの種類・製造年月・製造事業者等を表示しています。

使用上の注意
●使用上の注意について表示しています。





必ずお守りください

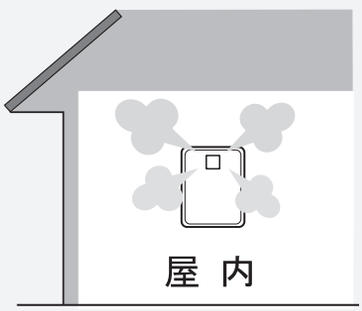
安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記しています。この内容は必ずお読みください。

⚠危険

屋内に設置しない(この機器は屋外用です)

●燃焼ガスが室内に充満したり正常な給排気ができないため異常燃焼し、酸欠や一酸化炭素中毒などの原因になります。

禁　止



ガス漏れに気づいたときは

①すぐに使用をやめて、給湯栓をすべて閉じる。
②ガス栓を閉じる。また、メーターのガス栓も閉じる。
③お買い上げの販売店、または最寄りのガス事業者に連絡する。

必ず行う

すべての処置が終わるまでの間、絶対に

・火をつけない
・電気器具のスイッチの入・切をしない
・電源プラグの抜き差しをしない
・周辺で電話を使用しない

炎や火花で引火し、火災のおそれがあります。

火気禁止

⚠警告

機器設置および付帯工事

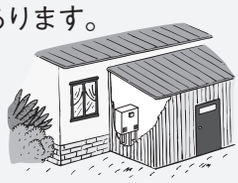
●機器の設置・移動および付帯工事は、お買い上げの販売店かパロマへ依頼し、安全な位置に正しく設置する。設置工事に不備があると事故の原因になります。

必ず行う

増改築などで屋内状態にしない

●設置後、機器や排気口を波板やビニール・塗装時に使用した養生シートなどで囲わない。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。

禁　止



このような場合は使用しない

●増改築や家屋の修繕時(特に外壁の塗装)には、シートで排気口を覆うことがあります。そのような場合は機器を使用しない。不完全燃焼や一酸化炭素中毒の原因になります。

禁　止

給排気口の前方に物を置いたり洗濯物でおおわない

●不完全燃焼や火災のおそれがあります。

禁　止

アース必要

●この機器は接地工事(アース)が必要なので、アースがされているか確認する。アースがされていない場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

アースを必ず接続せよ

ガス接続について

●この機器のガス配管の接続はねじ接続です。工事には専門の資格・技術が必要です。機器の設置・移動・取外しの際には必ずお買い上げの販売店かパロマへご相談ください。

必ず行う

機器本体やガスの接続部などに乗らない

●けがや機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。

禁　止

お子様には十分な注意を

●浴槽の湯(水)に潜ったり浴室で遊ばせない。思わぬ事故につながることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭では注意してください。

禁　止

浴槽のふたの上に乗ったり手をついたりしない

●ふたが外れておぼれたり、やけどなど思わぬ事故のおそれがあります。

禁　止

電源コードの加工禁止

●電源コードを切断して延長はしない。電源コードがコンセントに届く範囲としてください。感電や火災の原因になります。

禁　止

許容電力以上の使用禁止

●コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

禁　止

改造・分解禁止

●絶対に改造・分解は行わない。改造・分解は、思わぬ事故や故障・火災の原因となります。

分解禁止

必ずお守りください

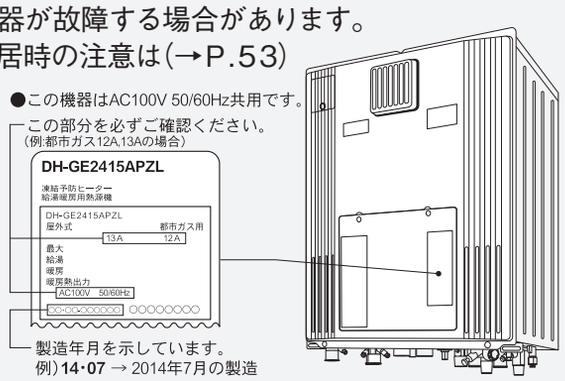
⚠警告

機器の銘板を確認

●機器の銘板に表示してあるガス種(ガスグループ)および電源(電圧・周波数)で機器を使用してください。ガス種および電源が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、異常点火でやけどをしたり、機器が故障する場合があります。

必ず行う

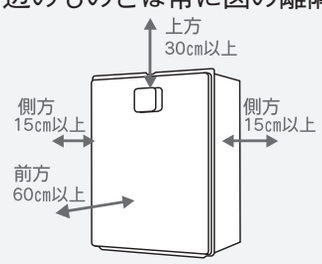
●転居時の注意は(→P.53)



火災予防のために必ず守ること

機器周辺のものとは常に図の離隔距離を確保する。

必ず行う



●機器および排気口の周辺には紙や木材・洗濯物など、燃えやすいものを置かない。火災の原因となります。

禁　止

●機器の周辺では灯油・ガソリン・ベンジンなど引火性危険物を使用しない。火災の原因となります。

禁　止

●機器の周辺や上にスプレー缶、カセットコンロ用ボンベを置いたり、使用したりしない。熱で缶・ボンベの圧力が上がり爆発のおそれがあります。

禁　止

電源プラグは確実に差し込む

●電源プラグは根元まで完全に差し込む。差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。傷んだプラグ、緩んだコンセントは使わないでください。

必ず行う

電源プラグを抜くときの注意

●コンセントから電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜く。コードを引っ張ると内部で断線して発熱や火災の原因になります。

必ず行う

電源プラグのほこりなどは定期的に取る

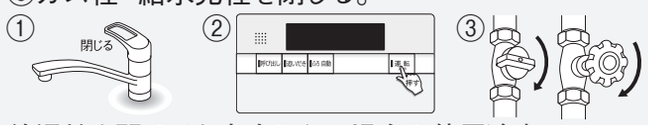
●ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

必ず行う

異常時の処置について

●地震・火災などの緊急時の場合は、以下の手順に従う。
①給湯栓を閉じる。
②**運転**ボタンを「切」にする。
③ガス栓・給水元栓を閉じる。

必ず行う



●給湯栓を開けても点火しない場合や使用途中で火が消える場合、または使用中に異常な燃焼や臭気・異常音・異常な温度を感じた場合。
①ただちに使用を中止してガス栓を閉じる。
②「故障かな？と思ったら」(→P.49～51)に従って処置をする。
上記の処置をしても直らない場合は、使用を中止してお買い上げの販売店かパロマへ連絡する。

必ず行う

ソーラー機器について

●ソーラー機器とは絶対に接続しない。夏期にソーラーの水温が高くなるとお湯の温度制御ができなくなり、高温のお湯がそのまま出ます。やけどをしたり機器の故障原因になります。

禁　止

給湯・シャワー使用時、入浴時の注意

●シャワーなどお湯を使う場合は、リモコンの表示温度をよく確かめ、手のひらで温度を確認して湯温が安定してから使用する。次のようなときは注意してください。
・お湯を再使用するとき
・給水圧が下がったとき
・お湯の量を急に少なくしたとき
・機器が故障したとき

高温注意

必ず行う

●入浴するときは、手でお湯の温度を確認する。
●給湯使用時は出湯管(蛇口)に触らない。
●給湯・シャワー使用中に、使用者以外がお湯の温度を変更したり、**運転**ボタンを「切」にしない。

禁　止

●おふろ沸かし(沸かし直し)や追いだき時には、循環口付近は熱くなることがあるので触らない。
思わぬ事故や、やけどのおそれがあります。

高温注意

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

●ぬれた手で電源プラグを触らない。感電のおそれがあります。

感電注意　ぬれ手禁止

必ずお守りください

⚠注意

用途についての注意
●一般家庭での台所・シャワー・洗面などへの給湯、おふろ沸かし以外の用途には使用しない。思わぬ事故につながることがあります。

禁　止

機器本体の高温部に触らない
●使用中または使用後しばらくは、排気口付近を触らない。やけどのおそれがあります。

接触禁止

空だき防止
●**追いだき**ボタンを押すときは、必ず浴槽の循環口より上に湯(水)が入っていることを確かめる。水位が循環口より低いと、空だきによる機器の故障や浴槽の損傷などの原因となることがあります。

必ず行う

オーバーフロー排出配管・ドレン排出配管から排出される水について
●オーバーフロー排出配管・ドレン排出配管から排出される水を飲料用・飼育用などに使用したり、触ったりしない。

禁　止

子供に対する注意
●子供を機器の周囲や直下で遊ばせない。思わぬ事故の原因になります。

禁　止

水漏れに気づいたときは
●速やかに給水元栓を閉じ、機器の使用を中止する。床や壁などをぬらして生じる損害は、お客様の責任となります。

禁　止

排気口に指や棒を入れない
●故障やけがの原因になります。

禁　止

配管カバー(または据置台)についての注意
●配管カバー(または据置台)のフロントカバーを外した場合、作業終了後には必ず外したカバーをしっかりと閉める。(→P.48)

必ず行う

長期間使用しない場合
●長期間使用しないときは、ガスの元栓を閉じる。

必ず行う

お願い

市販の補助用具について
●事故防止のため、この機器の純正部品以外は使用しないでください。
●水圧の低い地域では泡沫水栓を使用しないでください。
●市販品の湯冷め防止器などは使用しないでください。
●やけど対策上、サーモスタット付混合水栓の使用をおすすめします。
●混合水栓にはさまざまな種類があります。使用方法は、混合水栓の取扱説明書をご覧ください。

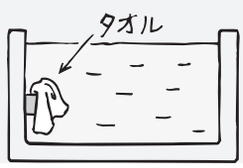
リモコンの扱いについて
●ふろリモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。給湯リモコンには水をかけたり、炊飯器・電気ポットなどの蒸気を当てないでください。故障の原因になります。
●リモコンはお子様がいたずらしないよう注意してください。

通水使用の禁止
●**運転**ボタンを「切」にした状態で、給湯栓を開けて水を出したり、シャワーを浴びないでください。機器内通水部分の結露により、機器の寿命を短くします。(冬期の凍結予防を除く)

断水のとき
●給湯栓を閉じ、リモコンの**運転**ボタンを「切」にしてください。
●断水から復帰後、使い始めのお湯は飲用や調理用などに使用しないでください。飲用や調理用に適さない水が、給湯配管内にとどまることがあります。

飲用にお使いのときは
●機器内に長時間たまった水(たとえば朝一番の使い始めのぬるい湯が出るまで)は、飲まないで雑用水としてお使いください。

入浴時の注意
●循環口を外して、お子様がオモチャ等を入れて遊ばないように注意してください。機器の故障の原因になります。
●浴槽の循環口をタオルなどでふさがないでください。循環不良によりおふろ沸かしができなくなったり、機器の故障の原因になります。



必ずお守りください

お願い

電源プラグを抜かない
●お手入れや水抜き(凍結予防・長期不在時)を行うとき、または突発的な自然災害(雷等)以外は、電源プラグを抜かないでください。

雷が発生しているときの注意
●雷が鳴り始めたら速やかに使用を中止し、感電に注意して電源プラグをコンセントから抜いてください。雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。

電源プラグを抜け

ぬれ手禁止

感電注意

雷が鳴ったあと機器が作動しないとき
●落雷の際に、機器内の漏電安全装置が作動したことが考えられます。この場合は電源プラグを一度コンセントから抜き、再度差し込んでください。それでも使用できないときはお買い上げの販売店かパロマへご連絡ください。

凍結についての注意
●凍結のおそれがあるときは、「冬期の凍結予防をするには」(→P.42)に従って処置をしてください。怠ると機器内の水が凍って機器が破損することがあります。
●凍結により機器や配管が損傷した場合の修理費は、保証期間内でも有料となります。
●凍結したままでは絶対に使用しないでください。
●凍結したときは**■凍結してしまったとき**(→P.46)に従って処置をしてください。

停電時または電源プラグを抜いたとき
●この機器は、停電時や電源プラグを抜いたときは使用できません。
●停電時は給湯栓を閉じてください。
●停電または電源プラグをコンセントから抜いた場合は、リモコンの現在時刻の設定を行い、表示を確認してからご使用ください。
●自動でおふろを沸かしているときに停電になると、ふろ自動運転が停止し、循環口からの湯が止まります。通電後、**■沸かし直しをするには**(→P.20)の操作を行ってください。

ガス事故防止のために
●使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中も正常に燃焼していることをリモコンの燃焼表示で確認してください。

日常の点検・お手入れ
●安全にお使いいただくために、点検・お手入れは月1回程度必ず行ってください。(→P.47)
●故障または破損したと思われるときは使用しないでください。このときお客様ご自身で修理せず、お買い上げの販売店かパロマへご連絡ください。
●循環口フィルターはこまめに掃除してください。浴槽内の循環口フィルターが詰まると、浴槽の湯温が不均一になったり、沸き上る前に消火することがあります。
●浴槽や洗面台が、水中の微量の銅イオンと脂肪分(湯アカ)により青く着色することがあります。日々、浴槽や洗面台のお手入れをするとともに、万一着色した場合はクレンザーやアンモニア水(10%程度)等でふき取ってください。

積雪時の閉塞について
●積雪時は給気口・排気口の点検、除雪を行い、積雪や屋根から落ちた雪により給気口・排気口が塞がれないように注意してください。故障の原因となります。

入浴剤や洗剤についての注意
●強酸・強アルカリの洗剤および、硫黄・酸を含んだ入浴剤は、機器の性能低下や熱交換器等が腐食する原因となりますので使用しないでください。入浴剤の含有成分等を確かめ、機器への悪影響がないものをご使用ください。
●ふろ用洗浄剤または乳白色や白濁する入浴剤のなかには、沈殿物が熱交換器にたまって異音を発生したり、フィルターや追いだき配管内にたまって動作不良を起こすものがあります。沈殿物を生じないものでも熱交換器内で沸騰を起こし異音を発生することがあります。このような入浴剤はご使用を避けてください。
●薬草やゆず入り入浴剤の場合は、薬草などがフィルターや機器内部に詰まることがありますので、ご使用を避けてください。

この機器は一般家庭用です
●業務用のような使いかたをされると機器の寿命を著しく縮めます。この場合の修理は保証期間内でも有料となります。浴槽についても、一般家庭用サイズをご使用ください。

長期間使用しないときは
●**■機器の水を抜く方法**(→P.43)に従って、水抜きを行ってください。水が長いあいだ流れないと、一瞬濁ったお湯が出たり、冬期に凍結する場合があります。

お願い　設置する場所や状況について

設置場所について

●設置場所をお決めになるときは近隣の家が運転音(燃焼音・燃焼ファン・ポンプ回転音)で迷惑にならない場所に設置してください。(工事担当者とご相談ください)

●足場などを組んだり、ハシゴ・脚立を使わなければメンテナンスができない高所などに設置しないでください。メンテナンスをお断りすることがあります。

●塀などを増設する場合は、空気の流れが停滞しないように考慮してください。機器の周囲の空気の流れが停滞すると、燃焼不良の原因になります。また、機器の点検・修理のための空間を確保してください。塀などと機器との間に十分な空間がないと、点検・修理に支障をきたすおそれがあります。(機器の点検・修理のための空間についてのお問い合わせは、お買い上げの販売店かパロマまで、ご連絡ください)

排気ガス

●増改築時には、排気ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに、当たらないようにしてください。変色・破損・腐食の原因になります。

●排気口の周囲には、排気口からの排気ガスによって加熱されて困るもの(危険物・植物・ペットなど)を置かないでください。

●この機器は熱効率が高いため、排気口から白い湯気が出やすくなっています。これは水蒸気であり、故障ではありません。

塩害

●海岸近くに設置するときは、潮風にさらされる場所を避けてください。機器が腐食し、故障の原因になります。

給排気について

●機器は給気・排気が十分できる場所に設置してください。給排気が不十分な場所に設置すると不完全燃焼の原因となります。

地下水や温泉水、井戸水の注意

●この機器は上水道用です。地下水・井戸水(簡易水道を含む)を使用されると、水質によっては機器内の配管内部に異物が付着したり短期間で銅管を腐食させるなど、耐久性を損なう場合や、機器が正しく作動しないことがあります。地下水・井戸水(簡易水道を含む)を使用する場合は施工前に十分水質※を確認してください。ただし、地下水・井戸水(簡易水道を含む)には様々な成分が溶け込んでいる為、機器に対する影響は正確に判断できませんので、保証期間内でも有料修理となります。

※飲料水適合していることを原則として、硬度60mg/ℓ以下・pH7～8・遊離炭酸4mg/ℓ以下が望ましい。

●温泉水は使用しないでください。

ほこり

●砂・油煙・ペットの毛など、ほこりのたちやすい場所には設置しないでください。ほこりが給気口をふさいだり、燃焼ファンの性能を低下させ、不完全燃焼の原因となります。

塩ビ管の使用について

●給水・給湯配管に塩ビ管を使わないでください。機器の使用直後に熱交換器の後沸きにより塩ビ管が破裂し、熱湯がふき出したり、多量の水漏れの原因になります。(ただし、オーバーフロー配管は除きます)

必ずお守りください

⚠警告　床暖房についての注意

やけどに注意

●長時間、座ったり寝そべったりしない。低温やけどを起こすおそれがあります。
特に次のような方が使用する場合は、周りの人が注意してあげることが必要です。
・乳幼児・お年寄り・病人など自分の意志で体を動かせない方
・疲労の激しいときやお酒・睡眠薬を飲まれた方
・皮膚や皮膚感覚の弱い方

火災予防

●床暖房の上にスプレー缶・ライター等を置かない。
爆発や火災のおそれがあります。

床についての注意

●床暖房を設置している床面に、突起物(釘・画びょう・きり・ダニ防虫剤の注射針・はさみなど)を落としたり刺したりしないでください。
水漏れの原因になります。

⚠注意

床についての注意

床に水などがこぼれたら速やかにふきとる

●床面に水・薬品・しょう油などをこぼしたままにしておくと、床暖房の放熱板が腐食することがありますので、速やかにふき取ってください。

床へは衝撃を加えない

●床が破損し、水漏れのおそれがあります。

床仕上材の上に敷物を敷かない

●木質フローリングをお使いの場合、カーペットなどの敷物を敷かないでください。性能が発揮できない場合や、床暖房の熱がこもって、フローリングが変形・変色することがあります。

家具などを直接床に置かない

●床暖房の上に、調度品・家具などを置きますと家具等に熱がこもり、ひずみ等が発生するおそれがあります。

重いものはそのまま置かない

●ピアノなど重量物にはパットなどを敷いて一箇所に荷重がかからないよう設置してください。床が破損し、水漏れのおそれがあります。

ホットカーペットとの併用はしない

●床仕上材が変形・変色するおそれがあります。

用途についての注意

●床暖房を他の目的に使用しない。
特殊な用途(例えば衣類の乾燥や動物の飼育、植物の栽培、食品の保存など)には使わないでください。

床下防腐処理について

●床暖房および配管類に処理剤が付着すると腐食することがありますので注意してください。

カーペットの張替えについて

●張替えする場合には床暖房専用のものを使用し、床暖房を破損しないように両面接着テープかグリッパーにて固定するようにしてください。釘あるいはびょうで固定するのは避けてください。また、交換を考えて、全面接着することは避けてください。

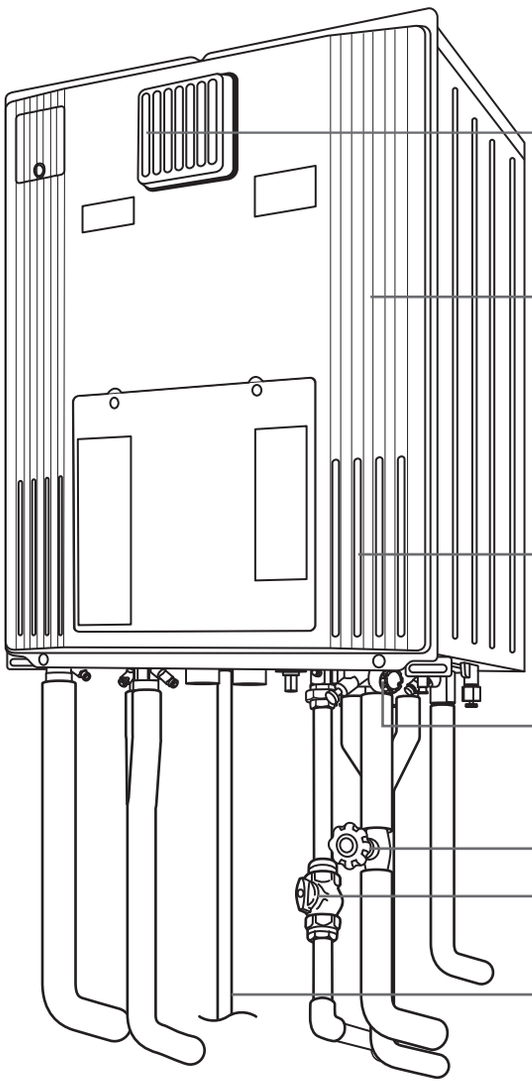
締め切ったお部屋で目がしみる場合は、窓を開放するなど換気を十分行う

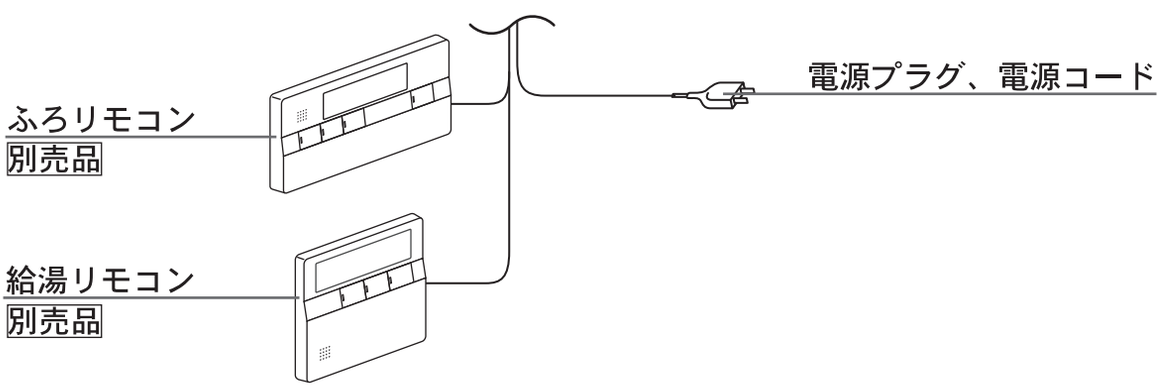
●断定はできませんが、接着剤等に含まれるホルムアルデヒド臭が原因のひとつに考えられます。ホルムアルデヒドの発散が少ないフローリング材・補強材や接着剤を使用しているか、施工業者にご確認ください。

床暖房以外の暖房端末機器についての注意は、
暖房端末機器の取扱説明書にあります。
暖房端末機器の取扱説明書をよくお読みください。

各部の名称とはたらき

■機器本体

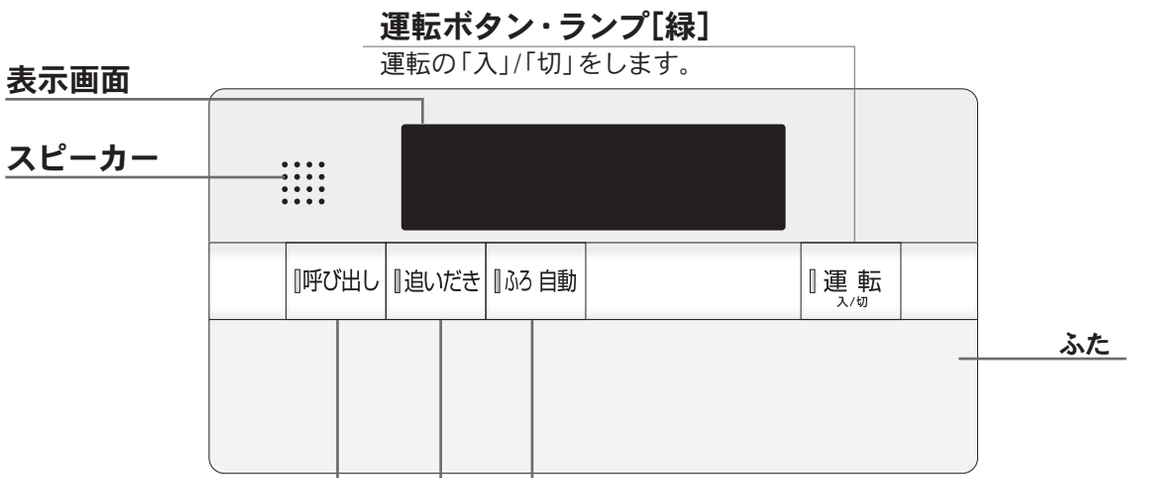




各部の名称とはたらき

■ふろリモコン　FC-700V（別売品）

浴室に設置して使用します。給湯温度の設定や給湯優先の切り替え、おふろ沸かしやおふろ沸かしに関する設定などの操作を行うことができます。通常はふたを閉じておいてください。



運転ボタン・ランプ[緑]
運転の「入」/「切」をします。

表示画面

スピーカー

ふた

ふろ自動ボタン・ランプ[橙/緑](→P.19)
自動でおふろを沸かします。

追いだきボタン・ランプ[橙](→P.25)
おふろのお湯を熱くします。

呼び出しボタン・ランプ[緑]
運転ボタン「入」/「切」に関係なく、押すと給湯リモコンに**“おふろで呼んでいます”**と音声が流れます。

ふろリモコンのふたを開けると、以下のようなボタンがあります。

保温時間ボタン
保温時間を設定します。(→P.22)

たし湯ボタン
おふろにお湯をたします。(→P.27)
長押し→手動配管クリーンをします。(→P.31)

ふろ水位ボタン
ふろ水位を設定します。(→P.21)

予約ボタン
おふろの予約をします。(→P.23)

優先ボタン
給湯温度調節の優先を切り替えます。(→P.18)

ふろ温度ボタン
ふろ温度を設定します。(→P.21)

ぬるくボタン
おふろに水をたします。(→P.26)

エネルギーメーターボタン
ガス・湯の今の使用量を表示します。　(→P.35)

給湯温度ボタン(上下ボタン)
給湯温度の調節をします。

時刻設定ボタン
時刻を合わせるときに使用します。(→P.14)

音量ボタン
音量を変更します。(→P.15)
長押し→省電力の設定・解除をします。(→P.29)

各部の名称とはたらき

□表示画面

※図のリモコンの画面表示は説明用で、実際の運転状態を示すものではありません。

ふろ温度表示
おふろの沸き上げ温度を℃で表示します。

ふろ水位表示/保温時間表示
ふろ自動運転の設定時にふろ水位や保温時間を表示します。

凍結予防運転表示
凍結予防運転中に表示します。

ふろ予約表示
ふろ予約中に表示します。

ふろ水位バー
ふろ水位を水位バーで表示します。

音量表示
音量設定時に表示します。

時刻表示
現在時刻や予約時刻を表示します。

エラーコード表示
不具合時のエラーコードを表示します。

優先表示
この表示があるとき給湯温度の変更ができます

省電力表示
省電力に設定すると表示します。

クリーン表示
配管クリーン中に点滅します。

燃焼表示
機器の燃焼中に表示します。

給湯温度表示/高温表示
給湯温度を℃で表示します。
50℃以上に設定すると高温を表示します。

追いだき運転時に表示します
□ ➡ □□ ➡ □□□ ➡ 消灯 ➡ □
ふろ自動・たし湯・ぬるく・配管クリーン運転時に表示します
□ ➡ □□ ➡ □□▱ ➡ 消灯 ➡ □

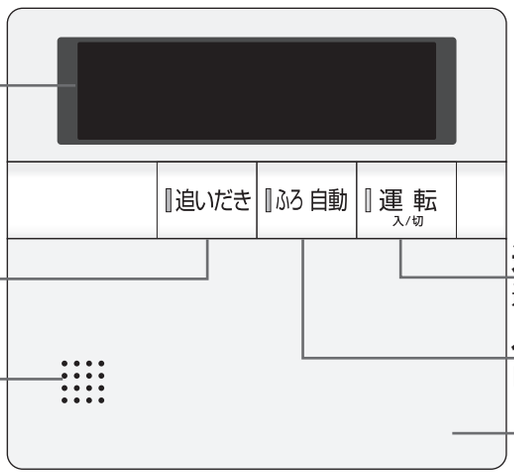
□トップ画面

ふろリモコンの運転入/切を「入」にしたときに表示する画面です。
ふろ温度・現在時刻・給湯温度などを表示します。

各部の名称とはたらき

■給湯リモコン　MC-700V（別売品）

台所に設置して使用します。
給湯温度の設定や、ふろ自動・追いだき・予約運転・暖房静音・エネルックなどの操作ができます。



表示画面

追いだきボタン・ランプ[橙] (→P.25)
おふろのお湯を熱くします。

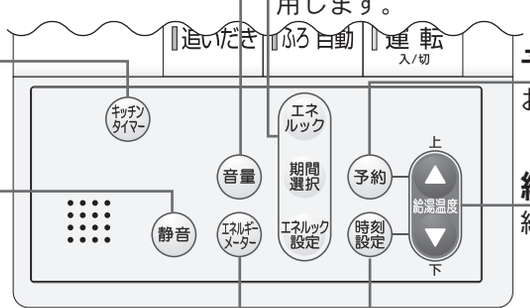
スピーカー

運転ボタン・ランプ[緑]
運転の「入」/「切」をします

ふろ自動ボタン・ランプ[橙 / 緑](→P.19)
自動でおふろを沸かします。

ふた

給湯リモコンのふたを開けると、以下のようなボタンがあります。



音量ボタン
音量を変更します。(→P.15)

キッチンタイマーボタン
30秒～60分のタイマーを利用できます。(→P.30)

静音ボタン
暖房時の運転音を静かにします。(→P.28)

エネルギーメーターボタン
ガス・湯の今の使用量を表示します。(→P.35)

エネルックボタン / 期間選択ボタン / エネルック設定ボタン
ガス・湯の使用状況、CO_2の排出状況を知りたいときに使用します。

予約ボタン
おふろの予約をします。(→P.23)

給湯温度ボタン(上下ボタン)
給湯温度の調節をします。

時刻設定ボタン
時刻を合わせるときに使用します。(→P.14)

□表示画面

※図のリモコンの画面表示は説明用で、実際の運転状態を示すものではありません。

ふろ予約表示
ふろ予約中に点灯します。

時刻表示
現在時刻や予約時刻を表示します。

エラーコード表示
不具合時のエラーコードを表示します。

優先表示
この表示があるとき給湯温度の変更ができます。

達成度表示
ガス・湯の目標値に対する達成度をイラストで表示します。

凍結予防表示
凍結予防運転中に点滅表示します。

燃焼表示
機器の燃焼中に点灯します。

クリーン表示
配管クリーン中に点滅します。

省電力表示
省電力に設定すると表示します。

静音表示
暖房静音設定時に表示します。

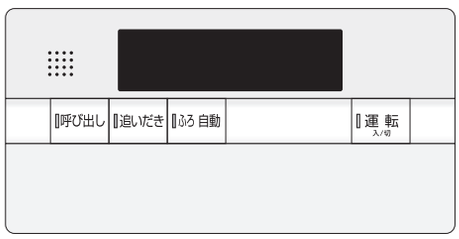
音量表示
音量設定時に表示します。

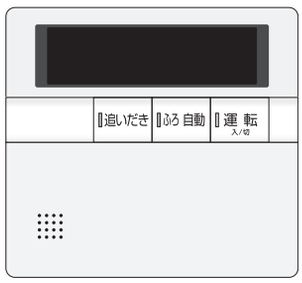
給湯温度表示 / 高温表示
給湯温度を℃で表示します。50℃以上に設定すると高温を表示します。

ご利用前の準備

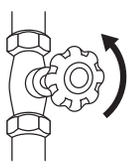
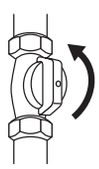
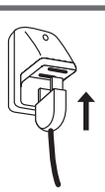
はじめてお使いになるときは、まず機器の準備をします。

リモコンのイラストはふたを閉じた状態です。
電源プラグをコンセントに差し込むと、ふろ・給湯リモコンに⚡を表示します。



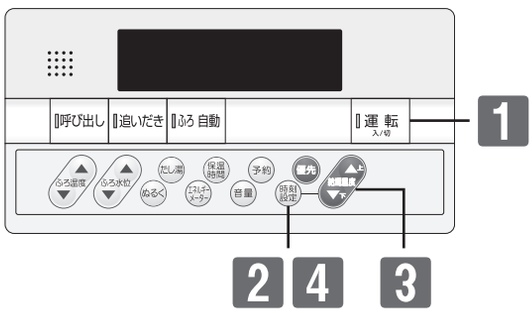


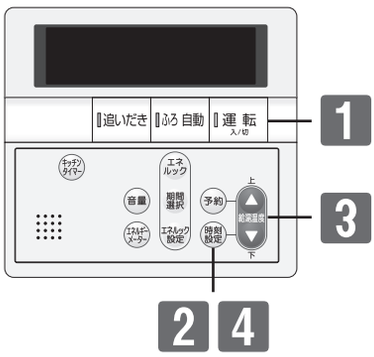
■機器の準備

操　　作	説　　明
1 機器や機器周辺の点検・確認を行います(→P.47)	
2 給水元栓を全開にします 	機器の下部にあります。
3 給湯栓を開けます	水が出ることを確認したら、閉じます。
4 ガス栓を全開にします 	機器の下部にあります。
5 電源プラグをコンセントに差し込みます 	機器周辺にあります。 リモコンの画面上に⚡を表示します。 表示が消えたら、リモコンの操作ができます。

ご利用前の準備

リモコンのイラストはふたを開けた状態です。
ふろ・給湯リモコンで操作ができます。
給湯リモコンで説明します。





■現在時刻を合わせる

いずれかひとつのリモコンで操作します。

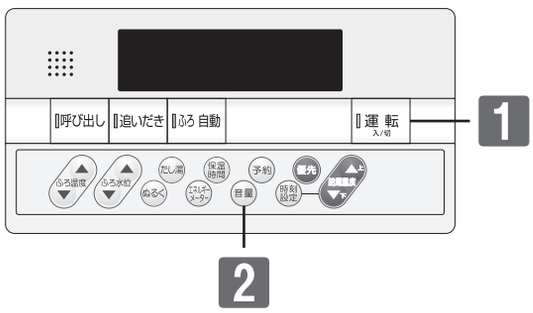
	操　　作	操作後の画面	説　　明
1	運 転 入/切 を「入」にする	給湯 優先 --:-- 省電力 40℃	**“現在時刻をセットしてください”**
2	ふたを開け(時刻設定)を押す	--:--	**“現在時刻です　上下ボタンで入力してください”**
3	上 給湯温度 下 で時刻を合わせる	AM 10:00	
4	(時刻設定)を押す	給湯 優先 AM 10:00 省電力 40℃	**“セットされました”** ※(時刻設定)を押さなくても、しばらく押し操作がないと設定を完了します。

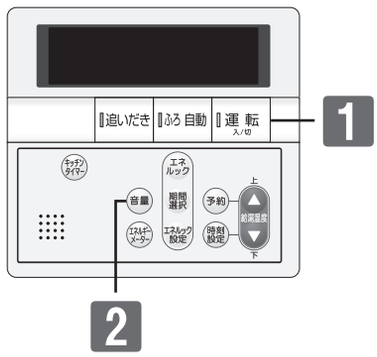
ご注意ください

- ●現在時刻の設定がされていない場合には、エネルック(→P.33)を利用できません。(エネルック)を押すと“ピッピッピッ”と警告音が鳴ります。必ず現在時刻を設定してください。
- ●電源投入直後や停電からの再通電時は、リモコンの画面上に[ ]が表示されます。表示が消えるまで、約40秒程度かかります。その間はリモコンの操作はできません。消えるまで待ってから**運転**ボタンを「入」にしてください。
- ●出荷時の時刻表示は「--：--」になっています。停電などで通電が止まった場合も出荷時の表示に戻りますので、通電後時刻の再設定をしてください。
- ●時刻の設定がされていない場合には、**運転**ボタンを「入」にするたびに**“現在時刻をセットしてください”**と音声ガイドが流れます。また、給湯温度を50℃以上に設定していた場合には**“給湯温度○℃です　熱い温度にセットされました　注意してください”**の音声ガイドが流れます。
- ●設定時にはAM(午前)・PM(午後)に注意してください。
- ●設定時に**上下**ボタンを押さないまましばらくたつと完了となりますが音声ガイドは流れません。
- ●時刻の設定終了後は、**運転**ボタンを「入」にするたび、給湯温度を音声ガイドでお知らせします。

音量を変更するには

リモコンのイラストはふたを開けた状態です。
ふろ・給湯リモコンで操作ができます。
給湯リモコンで説明します。





■音量を変更する

リモコン別に音量を変更します。

操　　作	操作後の画面	説　　明
1 運転 入/切 を「入」にする		
2 ふたを開け(音量)を押す		**“音量2です　変更する場合はもう一度ボタンを押してください”** 音量が点滅します。
(音量)を押して音量を調節する		**“音量1です”** (音量)を押す度に以下のように音量が変わります。 2 → 1 → 0 → - → 3 しばらく(音量)の押し操作がないと設定を完了します。
		“音量1にセットされました”

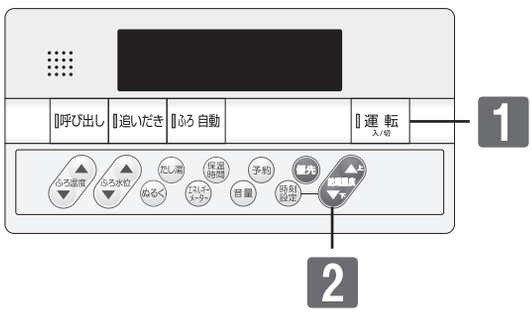
音量の目安　　2：工場出荷時

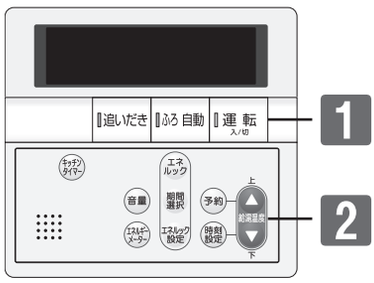
音量	音声の大きさ	ボタン音	警告音声 呼び出し音声	音声ガイド 上段：(音量)を押した時 下段：設定完了時
3	大	大	大	音量3です 音量3にセットされました
2	中	中	中	音量2です 音量2にセットされました
1	小	小	中	音量1です 音量1にセットされました
0	無音声	小	中	音声を消します （音声ガイドはありません）
-	無音声	無音	中	音を消します （音声ガイドはありません）

メモ
- ●変更した内容は、次回変更するまで記憶されます。
- ●音量を0・-に設定すると音声ガイドは流れません。ただし、警告音声や**呼び出し**ボタンが押されたときのチャイム・呼び出し音声は音量“中”で流れます。
- ●音量の設定は連動していません。それぞれのリモコンで設定を行ないます。

お湯を使うには

リモコンのイラストはふたを開けた状態です。
ふろ・給湯リモコンで操作ができます。
給湯リモコンで説明します。





■お湯を使用する

操作	操作後の画面	説明
1 運転 入/切 を「入」にする		“給湯温度、40℃です”
2 【給湯温度を変更する場合】 ふたを開け 上 給湯温度 下 で調節する		“給湯温度、42℃にセットされました” ※設定した給湯温度で音声ガイドが流れます。 ※給湯温度が変更できない場合は、□給湯温度が変更できないときは(→P.17)をご覧ください。
お湯を出す 給湯栓を開ける 		ふろリモコンでも🔥が点灯します。
お湯を止める 給湯栓を閉じる 		🔥が消灯します。 ※ただし、他の給湯栓が使用中のときや、ふろ自動運転のお湯張り中は消えません。

□給湯温度の目安

給湯温度の目安(単位:℃)　　40:工場出荷時

32 35	37 38	39 40 41 42 43	44 45 46 48	50 55 60
低温 食器洗いなど		シャワー・給湯など	給湯など	高温

※50℃以上に設定した場合には、リモコン画面に高温を表示し、警告音声が流れます。

“給湯温度、50℃です　熱い温度にセットされました　注意してください”

ご注意ください

- ●給湯温度と給湯栓から出る湯温は、配管の長さや外気温等により必ずしも一致しません。給湯温度は目安としてお考えください。
- ●夏期など水温が高い場合、低温に設定しても給湯温度より高い湯温となることがあります。

お湯を使うには

⚠警告
- ●給湯・シャワー等を使うときは、給湯温度を確認し、手で温度を確かめてから使う。確認を怠るとやけどのおそれがあります。
- ●シャワー使用中は使用者以外、温度の変更や優先の切り替え・**運転**ボタンを「切」にしない。
  突然、熱湯が出てやけどをしたり、冷水が出て思わぬ事故につながることがあります。必ず、ふろリモコンを優先にして、給湯温度を確認してから使用してください。

ご注意ください
- ●お湯を1時間以上連続使用すると、給湯栓閉め忘れ確認のためエラーコード“011”を表示し、燃焼が止まり水になります。その場合は給湯栓を閉じ、リセット操作(→P.51)をしてからご使用ください。
- ●ふろ自動運転のお湯張り中やたし湯中に給湯・シャワーを使用すると、ふろ温度で出湯されます。このときリモコンの給湯温度の表示は変わりません。ふろ温度が高いときに、給湯・シャワーを使う場合はご注意ください。
  また、ふろ自動運転やたし湯を一時中断(待機)させて、給湯温度で出湯する設定もできます。(→P.32)

お願い
- ●ふろ優先(→P.32)の場合、ふろ自動のお湯張り中・たし湯中は、リモコンの**給湯温度**ボタンを押すと“ピッピッピッ”と警告音が鳴り、給湯温度の設定はできません。
- ●55℃以下の温度で給湯・シャワーを使用しているときは、やけど防止のため60℃には設定変更ができません。変更をしたいときは、一旦給湯を止めてから設定してください。

メモ
- ●ふろ優先(→P.32)の場合、ふろ自動のお湯張り中やたし湯中に給湯・シャワーを使用すると、お湯張りが先に終了しても出湯中のお湯の温度はふろ温度のままで、給湯温度には戻りません。給湯温度に戻すには給湯・シャワーを一旦止めてから再度出湯してください。
- ●給湯使用中でも**優先**の表示があるリモコンでは温度の変更ができます。
- ●省電力待機中(→P.29)に**給湯温度**ボタンを押すと、トップ画面を表示するとともに現在の給湯温度を音声ガイドでお知らせします。
- ●サーモスタット付混合水栓やシングルレバー混合水栓をご使用の場合、給湯栓の機種や構造により、設定温度を「高温」にしても水が混合され、湯温がぬるくなる場合があります。
- ●サーモスタット式混合水栓をご使用の場合、水栓によってはハンドルの設定よりぬるいお湯が出ることがあります。このような場合は、リモコンの設定温度をご希望の温度(ハンドルの温度)より5～10℃高めにしてください。

□給湯温度が変更できないときは

給湯温度を調節するには、リモコンに優先の点灯が必要です。

2の操作で給湯温度の変更ができない場合は、リモコンに**優先**が点灯しているか確認してください。**優先**がない場合は**■ふろリモコンを優先にする**(→P.18)または**■給湯リモコンを優先にする**(→P.18)をご覧ください。

優先とは

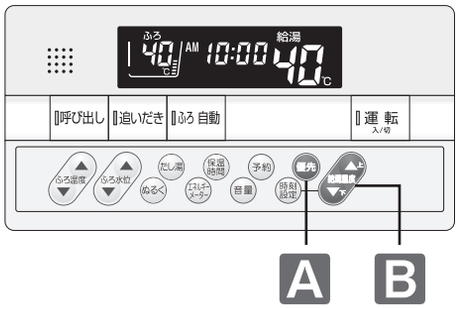
給湯温度の調節ができることを「優先」と呼び、給湯温度を調節できるリモコンには、優先が点灯しています。

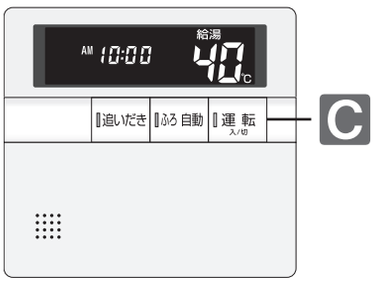
1つの機器から供給されている給湯栓からは、常に同じ温度のお湯が出ます。
そのため、お湯を使用中に使用者以外が給湯温度を変更すると、出ているお湯の温度が変わり、使用者がやけどをしたり、思わぬ事故の原因になります。
このような事故などを防ぐために、**優先**があるリモコンでしか給湯温度が変えられないようになっています。
優先は、運転入/切「入」にしたリモコンに表示します。

メモ
- ●給湯リモコンで**優先**がないときに**給湯温度**ボタンを押すと**“給湯温度、浴室優先です　運転ボタンを入れ直してください”**と、音声ガイドが流れます。

お湯を使うには

ふろリモコンのイラストはふたを開けた状態です。
ふろ・給湯リモコンで操作ができます。
ふろ・給湯リモコンで説明します。





■ふろリモコンを優先にする

操　　作	操作後の画面	説　　明
A **【ふろリモコンで行う】** 優先を押す		ふろリモコンで記憶していた給湯温度を表示し、優先が点灯します。 **“給湯温度、浴室優先です”**

操　　作	操作後の画面	説　　明
B **【ふろリモコンで行う】** ふたを開け給湯温度 上/下を押す		ふろリモコンで記憶していた給湯温度を表示し、優先が点灯します。 **“給湯温度、浴室優先です”**

■給湯リモコンを優先にする

操　　作	操作後の画面	説　　明
C **【給湯リモコンで行う】** 運 転 入/切 を「切」にする 再度 運 転 入/切 を「入」にする		❗他所でお湯が使われていないことを確認の上、行ってください。 優先が点灯します。 ※ふろ自動や追いだき等が運転中の場合は、運転を停止します。 停止させたくない場合は、Aの方法で優先を切り替えてください。

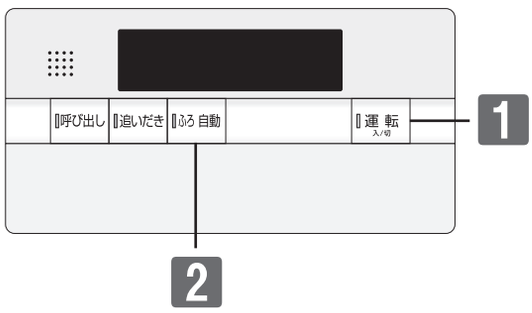
操　　作	操作後の画面	説　　明
A **【ふろリモコンで行う】** 優先を押す		給湯リモコンで記憶していた給湯温度を表示し、優先が消灯します。 **“給湯温度、台所優先です”**

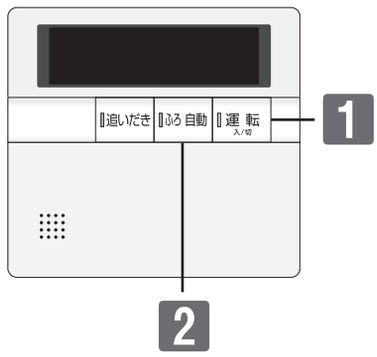
メモ

- ●給湯優先切り替え時には、55℃より高い設定温度にはなりません。優先を切り替えたとき、切り替え前の給湯温度が60℃だった場合、自動的に55℃にセットされます。
- ●優先切り替え後の給湯温度が、50℃以上の場合には**“給湯温度、○℃です　熱い温度にセットされました　注意してください”**とお知らせします。

自動でおふろを沸かすには

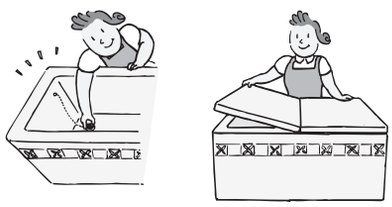
リモコンのイラストはふたを閉じた状態です。
ふろ・給湯リモコンで操作ができます。
ふろリモコンで説明します。





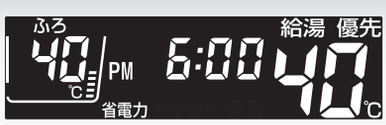
■ふろ自動運転をする

おふろを自動で沸かします。

操　　作	操作後の画面	説　　明
準備 浴槽の排水栓をしてふたをします		ふろ温度・ふろ水位・保温時間の確認・変更は(→P.21～22)
1 運 転 入/切 を「入」にする		
2 ふろ 自動 を押す		**“お湯張りを始めます　おふろの栓はしましたか”** ふろ 自動[橙]・湯・が点灯します。
おふろが沸き上がると、保温に入ります		設定水位に近くなると **“もうすぐおふろに入れます”** 設定された温度に沸き上がると **“おふろが沸きました”** 湯・が消灯し、ふろ 自動[橙]が[緑]に変わります。
保温時間内はふろ温度を保つため、定期的に沸き上げます		保温時間が終了するとふろ 自動[緑]が消灯します。

⚠警告　●入浴の際には念のためよくかきまぜて、湯かげんを手で確かめる。確認を怠るとやけどのおそれがあります。

おふろ沸かしや保温を中止するには

ふろ 自動 を押す		ふろ自動ランプが消灯して、おふろ沸かしや保温を終了します。トップ画面を表示します。

メモ　●給湯温度を５０℃以上に設定している場合には、ふろリモコンの沸き上がりの音声ガイドが、**“おふろが沸きました”**から **“給湯温度○℃です　熱い温度にセットされました　注意してください”**に変わります。

自動でおふろを沸かすには

⚠警告●おふろの沸かし上げ中や保温中は、突然循環口より熱いお湯が出たり、循環口の周囲が熱くなっていることがあるので注意する。

ご注意ください

●以下の場合は“もうすぐおふろに入れます”の音声ガイドが流れません。
1. 予約運転でふろ自動運転を行ったとき。
2. 残り湯があってふろ自動運転を行ったとき。

●自動でおふろを沸かしているとき停電になるとふろ自動運転が停止し、循環口からの湯が止まります。**■沸かし直しをするには**(→下記参照)をご覧になり、再度おふろを沸かし直してください。

●おふろのお湯(水)を抜くときは、ふろ自動ランプが消灯していることを確認してください。ふろ自動ランプが点灯しているときは、**ふろ自動**ボタンを押してふろ自動ランプを消灯してください。

メモ
●ふろ自動運転のお湯張り中に、循環口からお湯が出たり止まったりすると共にリモコンの燃焼表示がついたり消えたりすることは異常ではありません。

●給湯リモコンのふろ自動運転開始の音声は**“ふろ温度○℃です”**(○はお客様が設定したふろ温度)に続いて**“お湯張りを始めます　おふろの栓はしましたか”**と流れます。

●保温時のおふろ沸かしは、気温等により約15～30分の間隔で行います。

●給湯優先(→P.32)になっている場合は、ふろ自動運転のお湯張り中に給湯・シャワーを使用するとお湯張りが一時中断(待機)します。

■沸かし直しをするには

■ふろ自動運転をする(→P.19)の1から2と同じ操作で行います。
また、**■追いだき運転をする**(→P.25)でも行うことができます。(たし湯は行いません)

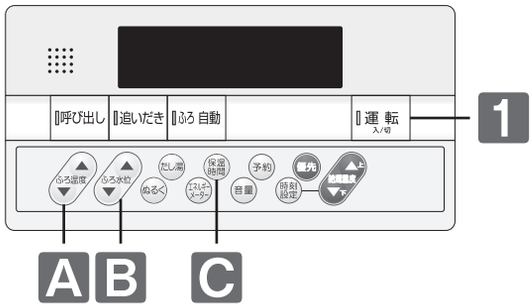
・残り湯の水位が浴槽の循環口の位置より低い場合は、設定量より残り湯の分だけ水位が増えますので、浴槽のあふれに注意してください。

・残り湯の水位が浴槽の循環口の位置より高い場合は、たし湯量がばらつくことがありま す。
特に残り湯がセット水位付近のときは**■追いだき運転をする**(→P.25)と同じ 操作で行ってください。残り湯が設定水位付近でふろ自動運転を行うとあふれるおそれ があります。

・残り湯と設定温度の差が少ない(約5℃未満)場合、お湯張りをしないときがあります。その場合は希望の水位まで給湯栓からお湯を入れるか、たし湯ボタンを押してたし湯してください。

ふろ温度・ふろ水位・保温時間を変更するには

リモコンのイラストはふたを開けた状態です。
ふろリモコンで操作ができます。
ふろリモコンで説明します。



■ふろ温度の設定

ふろ温度を変更します。

操　　作	操作後の画面	説　　明
1 運 転 入/切 を「入」にする		
A ふたを開け ふろ温度 で調節する		**“ふろ温度、41℃にセットされました”** ※設定した温度で音声ガイドが流れます。 ※省電力待機中に ふろ温度 を押すと“ふろ温度、○℃です”と音声が流れます。

ふろ温度の目安（単位：℃）　　40：工場出荷時

33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
低温				ぬるい			標準			あつい					

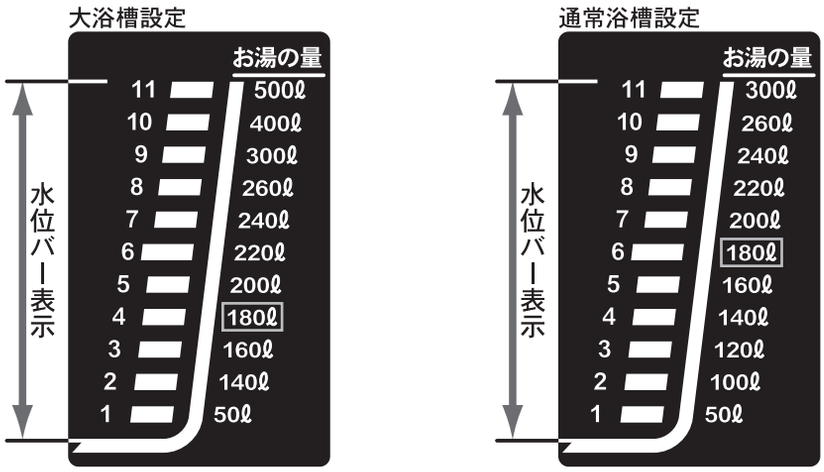
■ふろ水位の設定

ふろ水位を変更します。

操　　作	操作後の画面	説　　明
1 運 転 入/切 を「入」にする		
B ふたを開け ふろ水位 を押す		**“ふろ水位、5です”** 水位が点滅します。
ふろ水位 で調節する		**“ふろ水位、6です”** ※水位につきましてはふろ水位の目安（→P.22）をご覧ください。 しばらく押し操作がないと操作を完了します。 **“ふろ水位、6にセットされました”**

ふろ温度・ふろ水位・保温時間を変更するには

ふろ水位の目安　□：工場出荷時



※ふろ水位とは、浴槽に入れるお湯の量のことです。

■保温時間の設定

保温時間を変更します。

操　　作	操作後の画面	説　　明
1 運転 入/切 を「入」にする		
C 保温時間 を押す		**“保温時間、4時間です　変更する場合はもう一度ボタンを押してください”**
保温時間 を押して調節する 保温時間（単位：時間）　4：工場出荷時 0 1 2 3 **4** 5 6 7 8 ※保温時間を押すたびに、1時間ずつ保温時間が増えます。8時間に達すると0時間に戻り、再び1時間ずつ保温時間が増えます。		**“保温時間、5時間です”** ※保温しない場合は、“0”に設定してください。 しばらく押し操作がないと操作を完了します。 **“保温時間、5時間にセットされました”**

ご注意ください

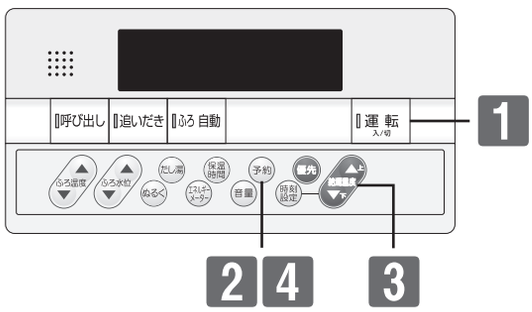
●夏期など水温が高い場合、ふろ温度を低温に設定すると、お湯張り時に燃焼しない場合があります。

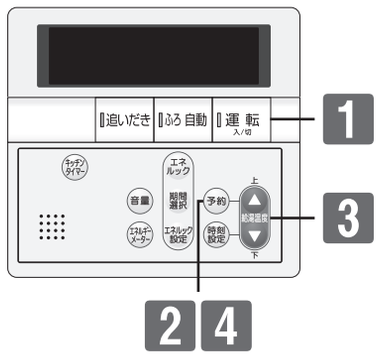
お願い ●浴槽の種類や施工条件によって、表示される温度や水位は実際と多少異なる場合があります。表示は目安としてお考えください。また、水位を高めにセットするとあふれる場合がありますので、最初は工場出荷時の設定で試して、そのときの実際の水位を確認してからお好みの水位に調節することをおすすめします。

メモ ●変更した内容は、次回変更するまで記憶されます。
●ふろ自動運転の保温中でもふろ温度の設定を変更することができます。

おふろが沸く時刻を予約するには

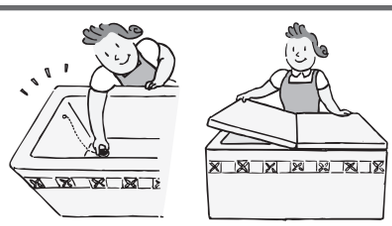
リモコンのイラストはふたを開けた状態です。
ふろ・給湯リモコンで操作ができます。
給湯リモコンで説明します。





■予約運転をする

おふろ沸かしの予約をします。

操　　作	操作後の画面	説　　明
確認 **予約の設定は予約時刻の６０分前までに設定してください。** ●現在時刻が合っているかを確認。(→P.14) ●予約時刻を確認。 ●ふろ温度・ふろ水位・保温時間の設定を確認。(→P.21～22)		
準備 浴槽の排水栓をして ふたをします		
1 運 転 入/切 を「入」にする		
2 ふたを開け予約を押す		**“ふろ予約時刻を変更する場合は、上下ボタンで入力してください”** 🕒が点灯し、予約時刻が点滅します。 ※工場出荷時の予約時刻はＰM6:00になっています。
3 上 給湯温度 下 を押して予約時刻を設定する		予約時刻の変更をしない場合は4の操作をします。
4 予約を押す		**“ふろ予約されました　おふろの栓はしましたか”** ※音声ガイドはふろリモコンにも流れます。 予約時刻の点滅から現在時刻の点灯に戻ります。

おふろが沸く時刻を予約するには

予約の設定は予約運転ごとに毎回行ってください

操　　作	操作後の画面	説　　明
5 予約した時刻におふろが沸き上がるように、ふろ自動運転が始まります	給湯 優先 PM 6:10 省電力 40℃	**“お湯張りを始めます　おふろの栓はしましたか”** 🕒が消灯して、ふろ 自動[橙]・♨が点灯します。
	給湯 優先 PM 6:30 省電力 40℃	おふろが沸き上がると **“おふろが沸きました”** 湯・♨が消灯し、ふろ 自動[橙]が[緑]に変わります。

予約を解除するには

【🕒が点灯している場合】

ふたを開け(予約)を押す

“ふろ予約、解除されました”
🕒が消えて予約が解除されます。

【おふろ沸かしが始まっている場合】

ふろ 自動 を押す

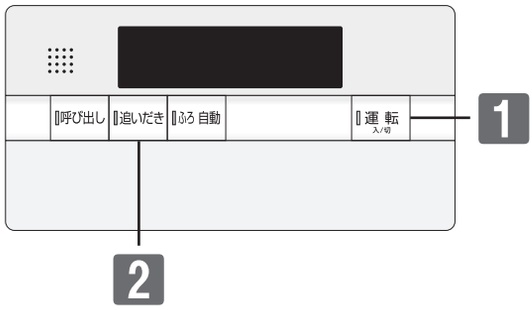
ふろ自動ランプが消えて運転を終了します。

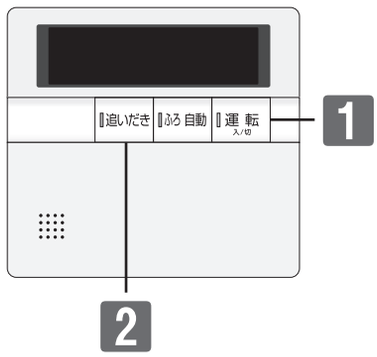
メモ

- ●ふろ予約の沸き上がり完了時刻は、予約運転中のお湯の使用や残り湯があるときや気温によって、多少前後する場合があります。
- ●変更した予約時刻は、次回変更するまで記憶されます。
- ●ふろ予約後に**運転**ボタンを「切」にしてもふろ予約運転は行われます。
  また、ふろ予約後(🕒点灯中)は**運転**ボタン「入」/「切」に関係なく、**予約**ボタンを押すと予約は解除されますのでご注意ください。
- ●停電や電源プラグを抜いた場合など通電が止まると、予約は解除されます。
  再通電後、現在時刻を合わせてから再度**予約**ボタンを押してください。
- ●現在時刻が「--：--」になっている場合、**予約**ボタンは使用できません。押すと“ピッピッピッ”と警告音が鳴ります。

おふろのお湯を熱くするには

リモコンのイラストはふたを閉じた状態です。
ふろ・給湯リモコンで操作ができます。
ふろリモコンで説明します。





■追いだき運転をする

おふろのお湯を熱くします。

操　　作	操作後の画面	説　　明
1 運 転 入/切 を「入」にする		
2 追いだき を押す		**“おふろを沸かします”** 追いだき[橙]・▭・🔥を点灯し、追いだき運転を開始します。 運転が終了すると、追いだき[橙]・🔥が消え、▭も消えます。 **“おふろが沸きました”**

【以下の条件で沸き上げて自動的に停止します】

ふろリモコンで操作	浴槽の湯の温度+2℃まで沸かします。 (追いだき時の最高温度：50℃) 浴槽の湯の温度が設定したふろ温度より2℃以上低い場合は、設定したふろ温度まで沸かします。
給湯リモコンで操作	設定したふろ温度まで沸かします。

⚠警告 ●入浴の際には念のためよくかきまぜて、湯かげんを手で確かめる。確認を怠るとやけどのおそれがあります。

もっとお湯を熱くしたいときには

追いだき運転終了後に、ふろリモコンで2の操作をする　　**“おふろを沸かします”**

追いだき運転を中止するには

追いだき を押す

トップ画面を表示します。

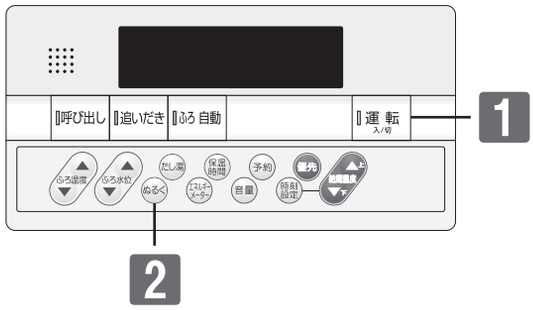
⚠注意 ●追いだきの操作をするときには、浴槽の循環口より上に湯(水)があることを確認する。
●ふろリモコンで追いだきの操作を何度も繰り返すと、最高約50℃まで追いだきします。やけどにご注意ください。

お願い ●ふろリモコンの**追いだき**ボタンは長く(5秒以上)押さないでください。入浴中に**追いだき**ボタンを5秒以上押し続けると、長期間使用しない場合の機器の水を抜くための状態となります。(→P.43)
誤って押し続けた場合はもう一度**追いだき**ボタンを押してください。

メモ ●給湯リモコンで**追いだき**ボタンを押すと、**“おふろを○℃に沸かします”**(○℃はふろ温度)と音声ガイドが流れます。

おふろのお湯をぬるくするには

リモコンのイラストはふたを開けた状態です。
ふろリモコンで操作ができます。
ふろリモコンで説明します。



■ぬるく運転をする

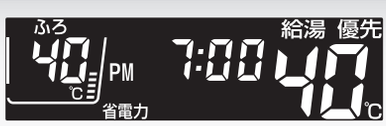
おふろのお湯をぬるくします。

操　　作	操作後の画面	説　　明
1 運 転 入/切 を「入」にする		
2 ふたを開け ぬるく を押す		**“水をたします”** 水 を点灯し、ぬるく運転を開始します。 約12ℓの水を入れます。 運転が終了すると、水 が消えます。

もっとぬるくしたいときには

ぬるく運転終了後に2の操作をする	**“水をたします”**

ぬるく運転を中止するには

ふたを開け ぬるく を押す		トップ画面を表示します。

ご注意ください

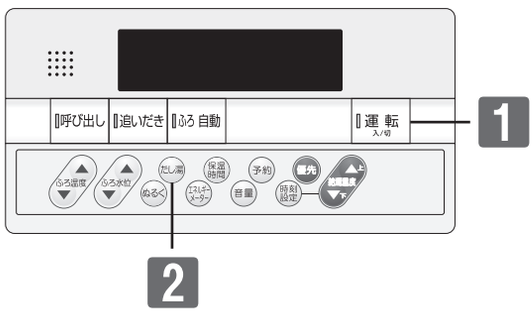
- ぬるく運転中に給湯・シャワーを使用すると、ぬるく運転は一時中断します。給湯・シャワーを終了するとぬるく運転を再開します。

メモ

- ぬるく運転では自動的に約12ℓの水を入れます。途中で湯かげんを確かめてください。

おふろのお湯を増やしたいときには

リモコンのイラストはふたを開けた状態です。
ふろリモコンで操作ができます。
ふろリモコンで説明します。



■たし湯運転をする

おふろのお湯を増やします。

操　　作	操作後の画面	説　　明
1 運 転 入/切 を「入」にする		
2 ふたを開け(たし湯)を押す		**"お湯をたします"** 湯・を点灯し、たし湯運転を開始します。 ふろ温度のお湯を約24ℓ入れます。 運転が終了すると、湯・が消えます。

もっとお湯を増やしたいときには

たし湯運転終了後に**2**の操作をする	**"お湯をたします"**

たし湯運転を中止するには

ふたを開け(たし湯)を押す		トップ画面を表示します。

ご注意ください

- ●たし湯運転中に給湯・シャワーを使用するとふろ温度で出湯(ふろ優先)されます。このとき給湯温度の表示は変わりません。ふろ温度が高いときに、給湯・シャワーを使う場合はご注意ください。
  また、たし湯を一時中断(待機)させ、給湯・シャワーを給湯温度で出湯(給湯優先)する設定もできます。(→P.32)
- ●夏期など水温が高い場合、ふろ温度を低温に設定すると、お湯張り時に燃焼しない場合があります。

お願い

- ●**たし湯**ボタンを5秒以上押し続けると、手動配管クリーン運転を始めます。(→P.31)
  誤って押し続けた場合はもう一度**たし湯**ボタンを押してください。

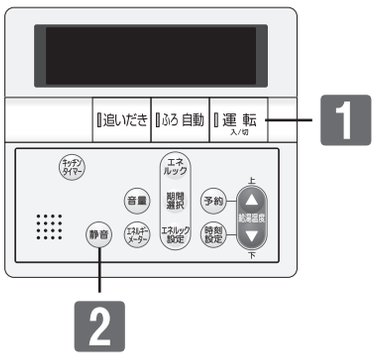
メモ

- ●ふろ優先(→P.32)の場合、たし湯と給湯・シャワーを同時に使用すると、たし湯が先に終了しても出湯中のお湯の温度はふろ温度のままで、給湯温度には戻りません。給湯温度に戻すには給湯・シャワーを一旦止めてから再度出湯してください。
- ●給湯温度を50℃以上に設定している場合は、たし湯終了時(たし湯と給湯・シャワー同時使用の時にたし湯が先に終了した場合は出湯停止時)に**"給湯温度○℃です　熱い温度にセットされました　注意してください"**と音声ガイドが流れます。

給湯暖房用熱源機をご利用の場合

暖房静音について

リモコンのイラストはふたを開けた状態です。
給湯リモコンで操作ができます。
給湯リモコンで説明します。



■暖房静音の設定

暖房能力を低下させ、暖房運転音を通常より静かにします。

操　　作	操作後の画面	説　　明
設定 ふたを開け(静音)を押す		※運転の「入」/「切」に関係なく、操作ができます。 “暖房静音セットされました” 静音を表示します。 ※運転ボタンが「切」の場合でも静音は表示されます。

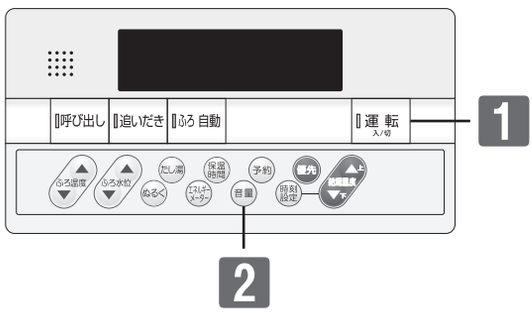
■暖房静音の解除

操　　作	操作後の画面	説　　明
解除 ふたを開け(静音)を押す		※運転の「入」/「切」に関係なく、操作ができます。 静音が消えます。 “暖房静音解除されました”

メモ
- ●変更した内容は、次回変更するまで記憶されます。
- ●リモコンの**運転**ボタンを「切」にしても設定は解除されません。
- ●暖房静音運転中に追いだき運転やふろ自動運転を行うと、暖房運転音が静かにならない場合がありますが異常ではありません。

省電力機能について

リモコンのイラストはふたを開けた状態です。
ふろリモコンで操作ができます。
ふろリモコンで説明します。



■省電力の解除

リモコンの画面表示を消して電力の節約をします。

操　　作	操作後の画面	説　　明
1 運 転 入/切 を「入」にする		省電力を表示しています。
2 ふたを開け 音量 を5秒以上押す		省電力が消えます。 “省電力、解除されました”

■省電力の設定

操　　作	操作後の画面	説　　明
1 運 転 入/切 を「入」にする		省電力が消えています。
2 ふたを開け 音量 を5秒以上押す		省電力を表示します。 “省電力、セットされました” 5分以上リモコン操作がない場合、画面表示が消えます。(省電力待機中)

省電力待機中に画面を表示させるには

各ボタンを押すと表示します

ご注意ください

右図のボタンは、押すと画面が表示されると同時に、動作を開始します。

呼び出し　追いだき　ふろ 自動

リモコン操作をしなくてもこんな場合は表示します

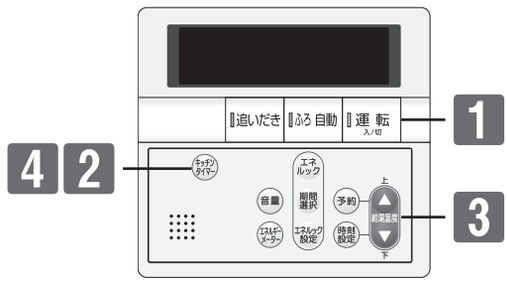
- お湯を使用しているとき
- 給湯温度が50℃以上に設定されているとき
- ふろ自動運転中(保温を含む)

お願い ●省電力待機中に給湯・シャワーを使うときは、画面を表示して給湯温度を確認してからご使用ください。

メモ ●省電力は**運転**ボタンの「入」/「切」では解除できません。
●省電力待機中は、運転ランプが少し暗くなります。
●給湯リモコンの省電力待機中に、ふろリモコンの呼び出しボタンが押されたときは、給湯リモコンは画面の表示をしないまま**“おふろで呼んでいます”**と音声のみが流れます。

知っていると便利な機能

リモコンのイラストはふたを開けた状態です。
給湯リモコンで操作ができます。
給湯リモコンで説明します。



■キッチンタイマーを使用する 30秒～60分までのタイマーを利用できます。

操　　作	操作後の画面	説　　明
1 運転 入/切 を「入」にする	AM 10:00 省電力 給湯 優先 40℃	
2 ふたを開けキッチンタイマーを押す	00:00	“上下ボタンで入力してください”
3 上 給湯温度 下 でタイマー時間を合わせる	03:00	キッチンタイマーは30秒単位で最大60分まで設定できます。
4 キッチンタイマーを押す	02:59 省電力 給湯 優先 40℃	カウントダウンを始めます。 ※カウントダウンは1秒刻みで表示します。 終了するとチャイムでお知らせします。

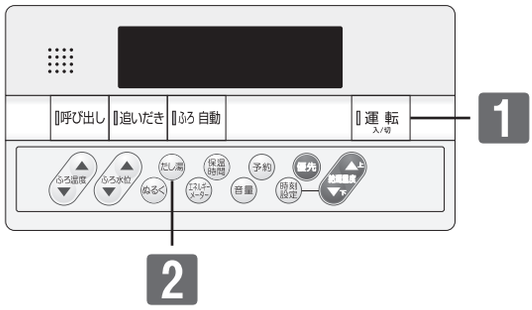
キッチンタイマーを中止するには

ふたを開けキッチンタイマーを押す	トップ画面を表示します。

メモ ●タイマー時間を合わせた後、キッチンタイマーを押さずに5秒経過すると、チャイムが鳴りカウントダウンを始めます。

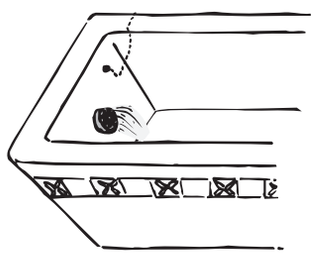
知っていると便利な機能

リモコンのイラストはふたを開けた状態です。
ふろリモコンで操作ができます。
ふろリモコンで説明します。



■手動配管クリーンをする

追いだき配管内の残り湯をきれいなお湯で流し出します。

操　　作	操作後の画面	説　　明
1 運 転 入/切 を「入」にする		
2 ふたを開け5秒以上 たし湯 を押す 手動配管クリーンを開始します	 	**“配管クリーンを始めます”** クリーンが点滅します。 6ℓのお湯（ふろ温度）を1分弱で流し、自動停止します。

手動配管クリーンを中止するには

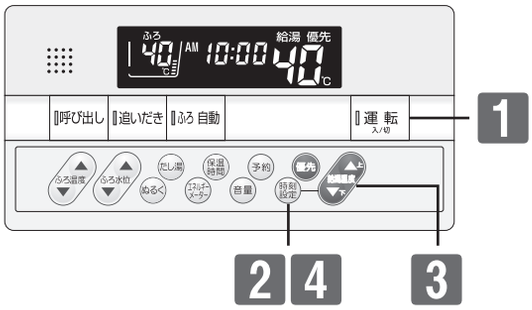
ふたを開け たし湯 を押す	**“配管クリーンを終わります”** トップ画面を表示します。

メモ

●給湯優先の場合、手動配管クリーン動作中に給湯・シャワーを使用すると、手動配管クリーンを待機します。給湯・シャワーを終了すると、再開します。

機能の設定を変更する

リモコンのイラストはふたを開けた状態です。
ふろリモコンで操作ができます。
ふろリモコンで説明します。



■給湯優先に変更する

お湯張りやたし湯中でも給湯・シャワーを給湯温度で使用できるようにします。

操作	操作後の画面	説明
1 運転 入/切 を「切」にする		
2 ふたを開け2秒以上 時刻設定 を押す	2 0	0が点滅します
3 給湯温度 上/下 を押して0を選択する	2 1	0→ふろ優先 1→給湯優先
4 時刻設定 を押す		“セットされました”

ふろ優先	ふろ自動運転のお湯張り中やたし湯運転中に給湯の同時使用が可能です。 給湯・シャワーはふろ温度で出湯します。
給湯優先	ふろ自動運転のお湯張り中やたし湯運転中に給湯を使用すると、ふろ自動運転のお湯張りやたし湯が一時中断(待機)します。 給湯・シャワーは給湯温度で出湯します。

メモ ●変更した内容は、次回変更するまで記憶されます。

エネルックとは

エネルックとは、ガス風呂給湯暖房システムで使用したガス・お湯(水道)の目安使用量や目安使用金額・目安のＣＯ2(二酸化酸素)排出量を表示すると共に、目標に対する達成状況を表示することでエネルギーの消費を身近に感じることのできる機能です。

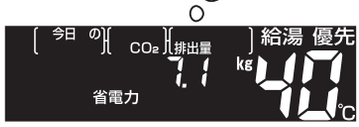
□こんな表示ができます□

エネルギーの目安使用量やCO2の排出量を確認できます(→P.36)

目安使用量

※ガス・湯の目安の使用量をそれぞれ日・月・年単位で確認することができます。

CO2排出量



※ガス・湯を合わせたCO2排出量を日・月・年単位で確認することができます。

エネルギーの瞬時目安使用量が確認できます(→P.35)

☆単価や目標金額を設定すると☆

エネルギーの目安使用料金が確認できます(→P.36)

目安使用料金

※ガス・湯の目安の使用料金と達成状況をそれぞれ日・月・年単位で確認することができます。

目標の設定で省エネ意識を高めます

エネルギーの達成状況をメイン画面に表示できます(→P.39)

※ガス・湯・CO2いずれかの達成状況を給湯リモコンのメイン画面に表示することができます。

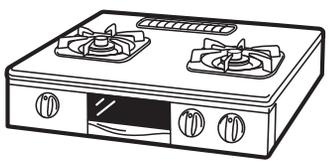
※達成状況に応じて4種類のイラストで表示します。

エネルックとは

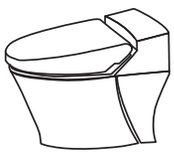
□表示される数値について□

エネルックで表示されるガス・水道の数値は本体機器で使用した目安の使用量です。お手元に届くガス・水道の検針量とは異なります。

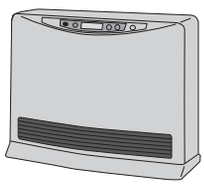
ガス・水道の使用量は給湯機器内を通った分が表示されます。
機器を通らずに使用したガス・水道は使用量の中には含まれません。
例えば次のような製品の使用分は含まれません。



ガスコンロ



トイレ



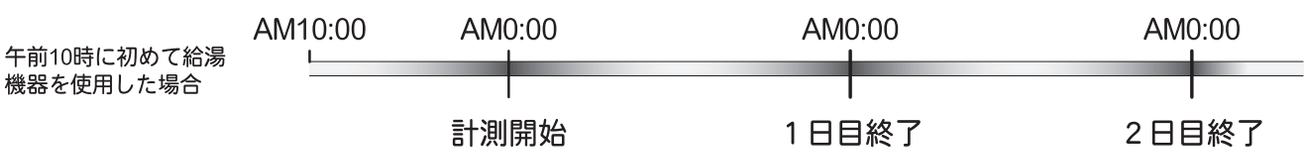
ガスストーブ

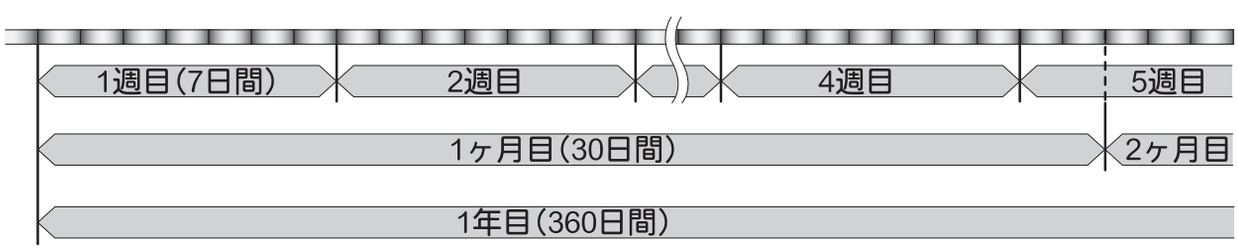
エネルックで表示されるガスや水道使用料金には基本使用料は含まれません。

ご家庭で支払われる使用料金は、リモコンに表示される金額で請求されることはありません。各メーターの使用量に応じて請求されます。

☆日にちは経過日数で管理します☆

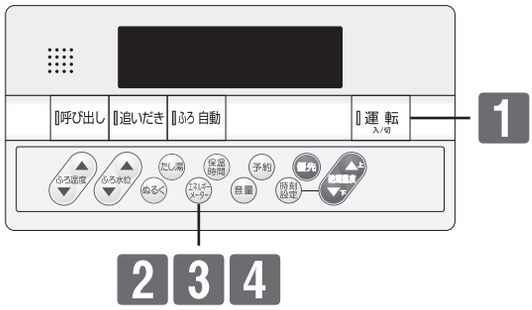
初めて電源を入れた日または経過日数をリセット後の午前0時から計測を始めます。

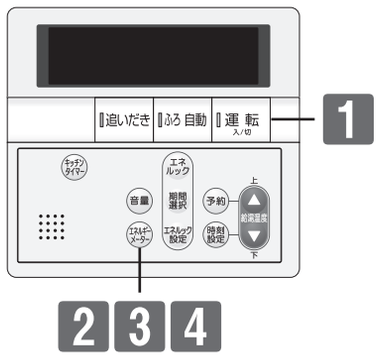




エネルック

リモコンのイラストはふたを開けた状態です。
ふろ・給湯リモコンで操作ができます。
ふろリモコンで説明します。





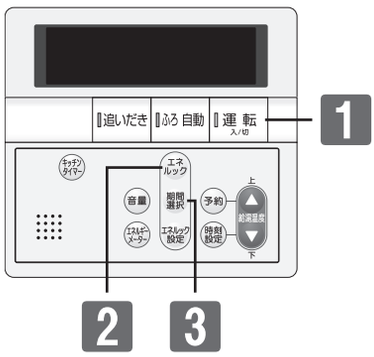
■エネルギーメーターを表示する　現在のエネルギー使用量を画面に表示します。

操　　作	操作後の画面	説　　明
1 運転 入/切 を「入」にする		
2 ふたを開け エネルギーメーター を押す		ガスの使用量を表示します。
3 エネルギーメーター を押す		お湯の使用量を表示します。
4 エネルギーメーター を押す		現在時刻表示に戻ります。

メモ
- ●エネルギーメーター表示は金額表示されません。
- ●エネルギーメーターを表示したまま省電力モードに入ったり、**運転**ボタンを「切」にすると、次回画面を表示するときは、現在時刻表示になります。

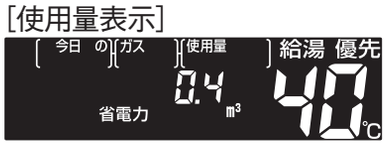
エネルック

リモコンのイラストはふたを開けた状態です。
給湯リモコンで操作ができます。
給湯リモコンで説明します。



■エネルックを見る

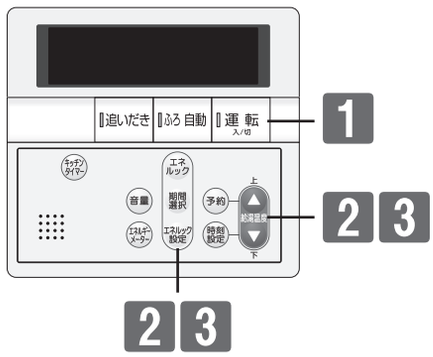
エネルギーの使用量を日・月・年で確認できます。

操　　作	操作後の画面	説　　明
1 運 転 入/切 を「入」にする		
2 **【エネルギー別の使用量を見る】** ふたを開けエネルックを押す エネルックを押すと初回はガス→湯→CO2排出量と項目が変わります。 項目を一巡すると、トップ画面に戻ります。 トップ画面に戻らずに終了した場合、前回表示した項目・期間から表示します。	[使用量表示]  [使用金額表示] 	今日のガスの使用量を表示します。 **■料金単価・目標を設定する**(→P.37)で単価を設定している場合は使用量と使用金額を交互に表示します。
3 **【期間別の使用量を見る】** 期間選択を押す 期間選択を押すと前日→今月→前月→今年→前年→今日→前日→…と期間が変わります。 **【期間別の目標を見る】** エネルック設定を押す	 [目標量表示] [目標金額表示] 	前日のガスの使用量を表示します。 エネルック設定を押し続けている間、表示します。 **■料金単価・目標を設定する**(→P.37)で単価と目標を設定している場合は目標量と目標金額を交互に表示します。

メモ
- ●現在時刻を設定していない場合は、エネルックを押すと“ピッピッピッ”と警告音が鳴り、利用できません。
- ●単価を設定していない場合は、量(m³)で表示します。
- ●目標を設定していない場合は、**【期間別の目標を見る】**ことはできません。エネルック設定を押すと“ピッピッピッ”と警告音が鳴ります。
- ●目標を設定している場合はエネルック画面に達成度のイラスト(→P.40)を表示します。

エネルック

リモコンのイラストはふたを開けた状態です。
給湯リモコンで操作ができます。
給湯リモコンで説明します。



■料金単価・目標を設定する エネルギーの使用量と目標を金額や量で設定します。

操　　作	操作後の画面	説　　明
1 運 転 入/切 を「入」にする	給湯 優先 AM 10:00 省電力 40℃	
2 ふたを開けエネルック設定を押す 上 給湯温度 下で設定する	給湯 優先 目標 Auto 省電力 40℃	“上下ボタンで入力してください” Auto→目標自動更新する（工場出荷時） OFF→目標自動更新しない
3 【Auto(目標自動更新する)を選択した場合】 エネルック設定を押す 上 給湯温度 下で設定する ※入力単位は以下の通りです。 単価……0～999円(1円単位) エネルック設定を押す度にガス料金単価→湯料金単価→トップ画面を表示します。	ガス 料金単価 省電力 0 円 給湯 優先 40℃ ガス 料金単価 省電力 200 円 給湯 優先 40℃	“ガスの料金単価を上下ボタンで入力してください” ※Autoでは目標の設定・変更をすることができません。

○目標とするデータは前年同月(12ヶ月前)のデータが適用されます。
前年同月(12ヶ月前)のデータがない場合は前月データが適用されます。
新規使用でデータがない場合やデータの初期化が行われた場合は、1週間経過するまで、目標を表示しません。1週間経過後は1週間のデータを1ヶ月に換算し、目標として設定します。
○単価を設定するとエネルック(→P.36)を金額と量で表示します。
0円で設定するとエネルック(→P.36)を量で表示します。

操　　作	操作後の画面	説　　明

3

【OFF(目標自動更新しない)を選択した場合】

エネルック設定を押す

上 ▲ 給湯温度 ▼ 下で設定する

“ガスの料金単価を上下ボタンで入力してください”

※入力単位は以下の通りです。
単価…… 0～999円(1円単位)
目標(金額)‥‥100～99900円(100円単位)
10.00万円～99.99万円(100円単位)
目標(量)…… 0～9999m³

エネルック設定を押す度にガス料金単価→ガス料金目標→湯料金単価→湯料金目標→トップ画面を表示します。

※OFFで料金単価を0円で設定した場合は、料金ではなく量で目標を設定します。

[料金単価を入力した場合]

“ガスの1ヶ月の料金目標を上下ボタンで入力してください”

1ヶ月の使用量の目標を金額で設定します。

[料金単価を入力しない(0円の)場合]

“上下ボタンで入力してください”

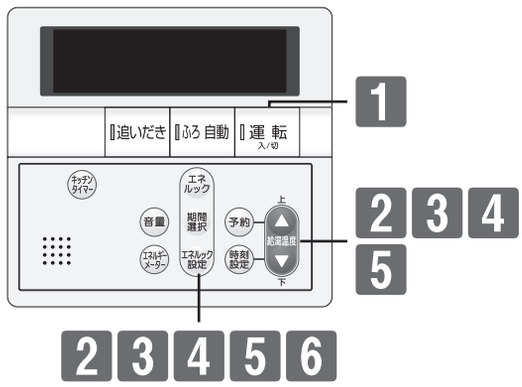
1ヶ月の使用量の目標を量で設定します。

○単価を0円で設定した場合は、目標を量で設定します。
○目標を量で設定した後で単価を設定すると、目標の量を金額に換算して表示します。
○単価および目標金額が設定されているときに単価が0円に設定されたら、変更前の単価で目標金額を量に換算して表示します。

メモ
- 設定した内容は、次回変更するまで記憶されます。
- ガス・水道料金は[使用量のお知らせ]などを参考にし、不明な場合は各事業者にお問い合わせください。

エネルック

リモコンのイラストはふたを開けた状態です。
給湯リモコンで操作ができます。
給湯リモコンで説明します。



■CO2排出係数と達成度表示を設定する

CO_2の排出係数と達成度を表示する項目を設定します。

操　　作	操作後の画面	説　　明
1 運 転 入/切 を「入」にする	給湯 優先 AM 10:00 省電力 40℃	
2 ふたを開け エネルック設定 を2秒以上押す 上 給湯温度 下 で数値を入力する	ガス CO_2 2.29 省電力 給湯 優先 40℃ ガス CO_2 2.21 省電力 給湯 優先 40℃	**“ガスのCO2排出係数を上下ボタンで入力してください”**
3 エネルック設定 を押す 上 給湯温度 下 で数値を入力する	湯 CO_2 0.36 省電力 給湯 優先 40℃ 湯 CO_2 0.16 省電力 給湯 優先 40℃	**“水道のCO2排出係数を上下ボタンで入力してください”**
4 エネルック設定 を押す 上 給湯温度 下 で項目を選ぶ	ガス 省電力 給湯 優先 40℃ →ガス→湯→CO_2→表示なし→	**“達成度を表示する項目を上下ボタンで入力してください”**
5 エネルック設定 を押す 上 給湯温度 下 で選択する	目標 A On 目標 A OFF	**“上下ボタンで入力してください”** トップ画面に表示しているエネルギーの達成度が、100%を超えたら警告音を鳴らす設定をします。 On→警告音を鳴らす(工場出荷時) OFF→警告音を鳴らさない

操　　作	操作後の画面	説　　明
6 エネルック設定を押す		

メモ ●設定した内容は、次回変更するまで記憶されます。

□CO_2排出係数について

CO_2の排出量を求めるには、ガス・水道それぞれの使用量に「排出係数」をかけて求めます。
排出係数は以下の出典によるものです。

・**都市ガス** 2.29 kg-CO_2/Nm^3
出典/ 地球温暖化対策の推進に関する法律施行令第３条

・**プロパンガス** 6.00 kg-CO_2/Nm^3
出典/ 地球温暖化対策の推進に関する法律施行令第３条

・**水道** 0.36 kg-CO_2/m^3
出典/ 環境省発表資料「家庭からの二酸化炭素排出量算定用　排出係数一覧」（平成18年6月更新）

□達成度のイラストについて

達成状況のイラスト表示は、設定した料金目標に対して現在の実績額が多いか少ないかその割合によって、4種類のイラストで表示されます。

[目標自動更新する]（→P.37）を選択した場合、エネルック計測開始1週間まではイラスト表示を行いません。また、**[目標自動更新しない]**（→P.38）を選択した場合、料金単価と料金目標が設定されていないと、達成状況のイラストは表示されません。

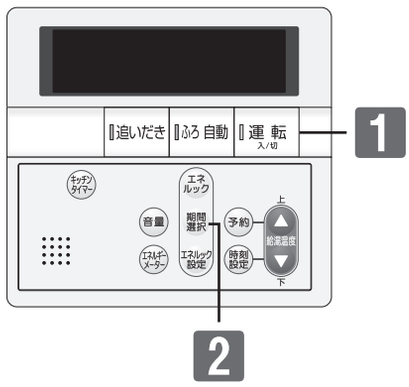
【例】今日現在の達成状況

84円(現在)÷120円(目標)＝0.7(70%)

※70%の達成度となるので、"90%以下"のイラストが表示されます。

エネルック

リモコンのイラストはふたを開けた状態です。
給湯リモコンで操作ができます。
給湯リモコンで説明します。



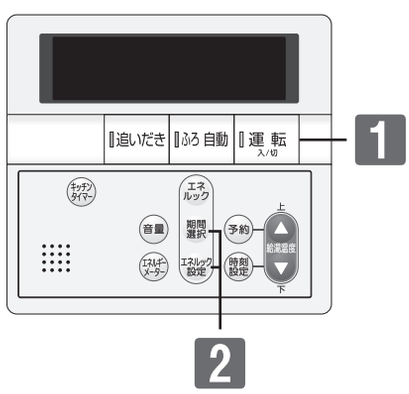
■日数の初期化をする

経過日数を初期化します。

操　　作	操作後の画面	説　　明
1 運 転 入/切 を「入」にする		
2 ふたを開け3秒以上 期間選択 を押す		**“日数、初期化されました”**

●日数の初期化を行うと、翌AM0：00から計測が開始されます。

リモコンのイラストはふたを開けた状態です。
給湯リモコンで操作ができます。
給湯リモコンで説明します。



■データの初期化をする

料金設定を含めたエネルックのすべてのデータを初期化します。

操　　作	操作後の画面	説　　明
1 運 転 入/切 を「入」にする		
2 ふたを開け3秒以上 期間選択 とエネルック設定を同時に押す		**“データ、初期化されました”**

●料金設定を含むすべてのエネルックデータを初期化します。初期化したデータは元に戻すことはできません。

冬期の凍結予防をするには

凍結を予防するための操作について説明します。

⚠注意
- ●暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがあります。以下をお読みいただき、必要な処置をしてください。
- ●凍結により機器や配管が損傷した場合の修理費は、保証期間内でも有料となります。

■凍結予防装置による方法

通常の寒さのとき(外気温−15℃、有風5m／秒程度まで)

機器の電源プラグは、抜かないでください

機器には、気温が下がってくると自動的に機器内を保温する凍結予防ヒータと浴槽の水(湯)を循環して、ふろ配管の凍結を予防する凍結予防装置がついています。電源プラグを抜いたり電源ブレーカーを切ると凍結予防装置がはたらきません。

◆凍結予防装置は、**運転**ボタンの「入」/「切」に関係なく作動します。

◆配管は凍結することがあります。配管は必ず保温材または電熱ヒータを巻くなど、地域に応じた処置をしてください。

浴槽の水(湯)は循環口上部より5cm以上高い位置にする

◆浴槽の水(湯)を循環し、凍結予防をするため浴槽の残り湯は捨てずに、そのままにしておいてください。また、浴槽の水(湯)を循環する凍結予防の動作中は、リモコンに❄を点滅表示します。

給湯リモコン表示例

※リモコンの**運転**ボタン「切」や省電力待機中は表示しません。

暖房回路の凍結予防のためにガス栓は開けておいてください

◆暖房回路は気温が下がってくると自動的に暖房運転(燃焼)し、暖房回路を温めて凍結予防をします。機器および端末機器の電源プラグを抜いたり電源ブレーカーを切らないでください。(端末機器の種類によっては凍結予防ができない場合があります)

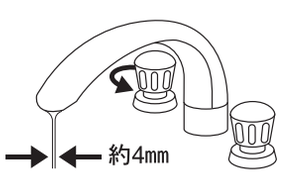
◆暖房回路の凍結予防には、不凍液を使用する方法もあります。(→P.45)

お願い ●お使いになるときは、給湯栓を開けて水が出ることを確認してから、**運転**ボタンを「入」にしてください。

寒波などで特に寒くなりそうなときは、給湯栓の水を流す方法または、機器の水を抜く方法で凍結予防をしてください。

■給湯栓の水を流す方法

この方法は機器本体だけでなく、給水・給湯配管やバルブ類および給湯栓の凍結予防に有効です。

操　作	説　明
1 運転 入/切 を「切」にする	必ず行います。
2 浴室の給湯栓を開け、1分間に400cc程度の水を流し続けます 	流量が不安定なことがありますので、念のため約30分後に流量を確認してください。 ※サーモスタット式混合水栓やシングルレバー式混合水栓の場合は最高温度側にします。

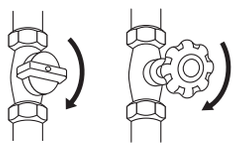
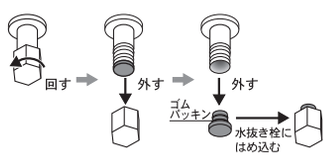
メモ
- ●給湯栓の水を流す方法で凍結予防をしているときは、家の人に凍結予防のために水を流していることをお知らせください。水を止めると凍結します。
- ●通水使用の禁止として、**運転**ボタンを切った状態で給湯栓を開けて水を出さないようにお願いをしていますが、凍結予防の場合は問題ありません。(→P.5)
- ●サーモスタット式混合水栓やシングルレバー式混合水栓をご利用の場合は、再使用時の給湯温度設定にご注意ください。

冬期の凍結予防をするには

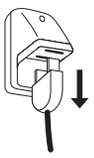
⚠注意 ●使用後すぐに水抜きをしない。やけどのおそれがあります。機器やお湯が高温になっていますので冷えてから行ってください。

■機器の水を抜く方法

入居前や長期不在で家の電気ブレーカーを「切」にする場合や、電源プラグを抜く必要がある場合には、この方法で機器内の水を排水し凍結予防をします。

操　　作	説　　明
1 ガス栓と給水元栓を閉じます 	機器の下部にあります。
2 浴槽の水を完全に排水します ふろリモコンの[運転 入/切]を「入」にし、[追いだき]を5秒間押し続けます	※浴槽の水が排水されていないとふろリモコンに「032」が点滅します。再度、浴槽の水が排水されているか確認してください。 **“おふろを沸かします”**
3 すべての給湯栓を全開にします	
4 水抜き栓(1)(2)(3)を外します **水抜き栓(3)の外しかた** 水抜き栓(3)は中のゴムパッキンを外して、水抜き栓にはめ込みます 	※水抜き栓の位置は、**□水抜き栓位置図**(→P.44)をご覧ください。
5 暖房回路の水抜きを行わない場合は7 8の操作を行います	
6 暖房回路の水を抜く前に、不凍液注入の確認をします **【不凍液が入っている場合】** 7 8の操作を行います **【不凍液が入っていない場合】** 水抜き栓(4)を外します	※不凍液注入の有無は、機器フロントカバー貼付のラベルで確認します。 ※水抜き栓の位置は、**□水抜き栓位置図**(→P.44)をご覧ください。

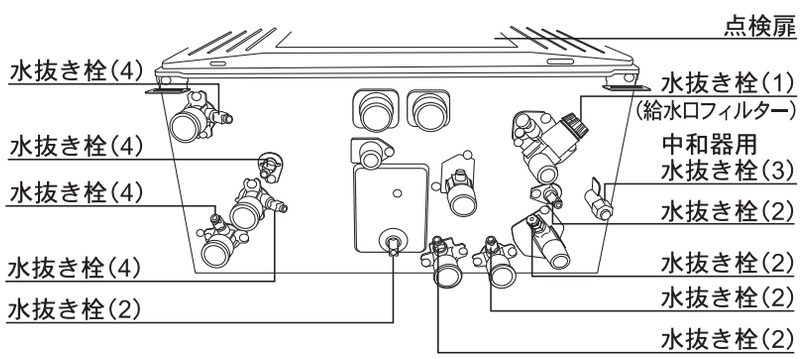
冬期の凍結予防をするには

操　　作	説　　明
7 必ず電源プラグを抜きます 	機器の周辺にあります。 電源プラグを抜き忘れますと機器の故障の原因となります。
8 水抜き栓からの排水を確認し、すべての水抜き栓を元どおりに取り付けてください	

⚠注意 ●配管カバー（または据置台）のフロントカバーを外した場合、作業終了後には、必ず外したカバーをしっかりと閉める。（→P.48）

お願い ●水抜きをした後は浴槽へ水を流しこまないでください。再び使用するまでそのままにしておいてください。
●暖房回路の水抜きを行った場合は、再び使用するときに水張り作業が必要です。
お買い上げの販売店かパロマへご連絡ください。
●水抜きの操作をすると、機器本体だけでなく配管や端末機器内の水も出てきます。
水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。

□水抜き栓位置図



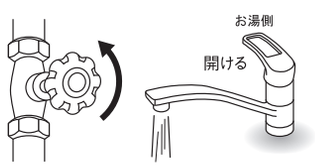
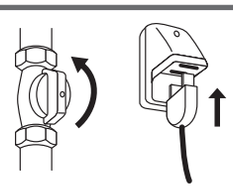
冬期の凍結予防をするには

■不凍液による方法

□寒冷地では不凍液を使用してください。不凍液は経年劣化します。毎シーズン初めにお買い上げの販売店かパロマにチェックを依頼して、3年に1度交換してください。
□暖房システムの凍結予防のために指定された不凍液を使用してください。指定以外の不凍液は機器に悪影響を与える場合がありますのでご注意ください。
□不凍液は、不凍液の取扱説明書に記載されている方法で正しく使用してください。

■再使用するとき

水抜き後、再度使用するときは次の操作をしてください。

	操　　作	説　　明
1	すべての水抜き栓およびすべての給湯栓が閉じていることを確認します	※水抜き栓の位置は、□**水抜き栓位置図**(→P.44)をご覧ください。
2	給水元栓を開け、機器や配管より水漏れがないか確認します また、すべての給湯栓を開けて水が出ることも確認します 	給水元栓は機器の下部にあります。
3	ガス栓を開け、電源プラグを差し込みます 	ガス栓は機器の下部にあります。 電源プラグは機器の周辺にあります。
4	リモコンの現在時刻を設定します	■**現在時刻を合わせる**(→P.14)をご覧ください。
5	ふろ自動運転を行います 浴槽に湯を張り水位などを確認します(再度水漏れがないか確認してください) 	※循環口からお湯が出ることを確認してください。しばらく(1分程度)してもお湯が出ない場合は、ふろ自動運転を中止してください。 追いだき配管が凍結している場合、オーバーフローよりお湯が出ます。

通水後初めての暖房・ふろ使用で、リモコンにエラーコード“173”“543”が出る場合
端末機器側の運転とリモコンの**運転**ボタンを一旦「切」にし、機器の給水元栓が開いていること・すべての暖房水抜き栓が閉まっていることを確認し、電源プラグの抜き差しをしてから再使用してください。

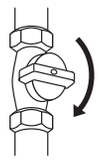
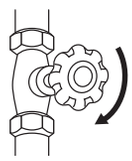
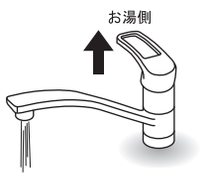
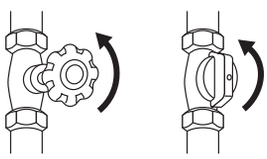
⚠注意 ●配管カバー(または据置台)のフロントカバーを外した場合、作業終了後には、必ず外したカバーをしっかりと閉める。(→P.48)

お願い ●再使用するときは、水抜き栓を元どおりに確実に閉じてください。閉じかたが不十分だったり閉じ忘れたりすると、そこから水漏れします。
●再使用の初回給湯使用時には、約90秒間機器への補水を行うため、この間はお湯が出ません。(点火しません)しばらくたってから、再出湯してください。

冬期の凍結予防をするには

■凍結してしまったとき

凍結したときは給湯栓を開けても水は出てきません。解凍するまで待って、次の操作により水が出ることを確認してから運転してください。

	操　作		説　明
1	ガス栓を閉じます		機器の下部にあります。
2	給水元栓を閉じます		機器の下部にあります。 ※配管が破損していた場合の水漏れを防止する目的です。
3	運転 入/切 を「切」にする		
4	ときどき給水元栓を開けて、給湯栓から水が出ることを確認します 水が出てくれば使用できます		給水元栓は、機器の下部にあります。
5	給水元栓を全開にし、ガス栓を開けます		機器の下部にあります。 必ず、機器および配管から水漏れがないことを確認します。
6	運転 入/切 を「入」にする ふろ自動運転を行い、機器の水漏れや追いだき配管が凍結していないか確認します		※循環口からお湯が出ることを確認してください。しばらく(1分程度)してもお湯が出ない場合は、ふろ自動運転を中止してください。 追いだき配管が凍結している場合、オーバーフローよりお湯が出ます。

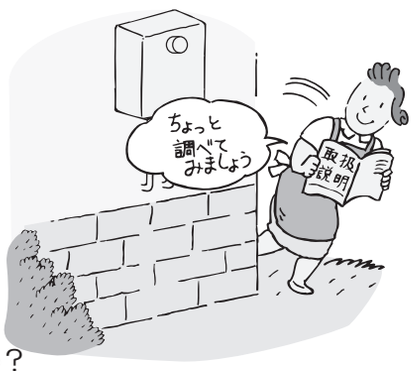
⚠注意 ●配管カバー(または据置台)のフロントカバーを外した場合、作業終了後には、必ず外したカバーをしっかりと閉める。(→P.48)

お願い ●給水・給湯配管が凍結すると配管や給湯栓が破損することがあります。解凍後は、全ての給湯栓を閉じてから水道メーターを見るなど水漏れしていないことをご確認ください。
●機器や配管が破損し、床や壁などをぬらして生じる損害はお客様の責任となります。

点検のポイント・お手入れのしかた

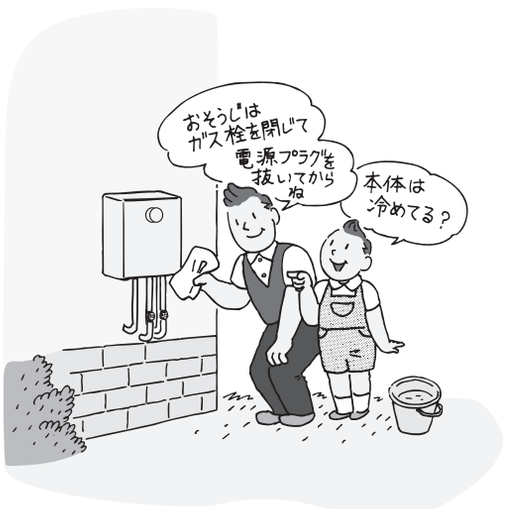
■点検のポイント(月1回程度)

次の7つのポイントで点検してください。



1. 機器および配管から水漏れはありませんか？
   水漏れは、機器の故障だけでなくお隣や階下の方にも多大な迷惑をかけます。
2. 機器および配管からガスの臭気がしませんか？
3. 運転中に機器から異常音が聞こえませんか？
4. 機器の外観に異常は見られませんか？
5. 機器のまわり、および排気口のそばに燃えやすいものはありませんか？
   また、整然とされていますか？
   機器のまわりに雑草や木くず・箱などで雑然としていると、機器の内部に害虫(ゴキブリなど)が侵入したり、くもの巣がはったりして、機器の故障などの原因になる場合があります。
6. 浴槽に循環口フィルターがついていますか？
7. 給気口・排気口への積雪や、屋根から落ちた雪により排気口がふさがれていませんか？
   給気口・排気口がふさがれていると、機器が不完全燃焼することがあります。
   積雪時には給気口・排気口の点検、除雪を行ってください。屋根から落ちた雪が給気口・排気口をふさぐおそれがあるときは、お買い上げの販売店かパロマへご連絡ください。

■お手入れのしかた(月1回程度)



機器本体およびリモコンのお手入れ

- ●汚れは、湿ったやわらかい布で軽くふき取ってください。
- ●シンナー・ベンジンなどは使わないでください。
  変色・変形する場合があります。

■定期点検のおすすめ(有料)

- ●機器を安心して長くご使用いただくために、1年に1回程度点検を受けることをおすすめします。
  なお、給水用具(逆流防止装置)に関しては、4～6年に1回程度の点検をおすすめします。
  点検はお買い上げの販売店かパロマへご相談ください。

⚠警告 ●フロントカバーを外したり、リモコンを分解したりしない。

分解禁止

ご注意ください

- ●機器本体のお手入れは、ガス栓を閉じ、電源プラグを抜き、機器が冷えてから行ってください。
  また、けがなどしないよう、指先には十分注意してください。
- ●給湯栓の先端に泡沫器が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルター(金網)を掃除してください。
- ●給湯リモコンには水をかけないようにしてください。リモコンの内部には電気部品が入っていますので故障の原因となります。また、ふろリモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。

お願い

- ●洗剤およびシンナー、ベンジンなどではふかないでください。
- ●水圧の低い地域では泡沫器は使用しないでください。

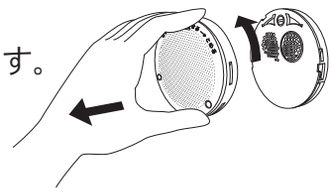
点検のポイント・お手入れのしかた

■循環口フィルターの掃除(こまめに掃除)

浴槽をお掃除するときは循環口フィルターも掃除してください。循環口フィルターには、湯アカや毛、タオルのくずなどが意外と多くたまるものです。循環口フィルターの汚れがひどいと、循環量が弱まったり、追いだきができなくなります。

循環口フィルターの外し方

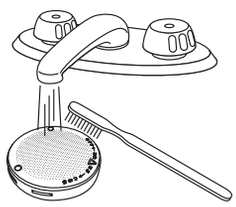
循環口フィルターを
左に回して手前に引きます。



循環口フィルターを掃除する

歯ブラシなどで洗います。

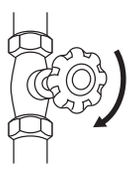
掃除後、循環口フィルターを
元のように取り付けます。



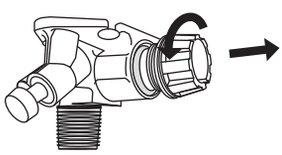
■給水口フィルターの掃除

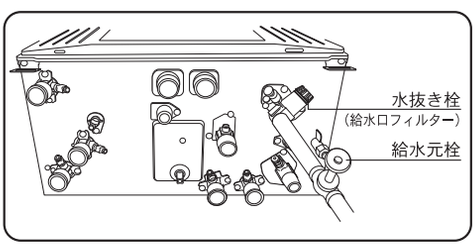
給水口フィルターが詰まるとお湯の出が悪くなったり、お湯にならない場合があります。次の要領で給水口フィルターを掃除してください。(特に、新築の場合)

1 給水元栓を閉じる

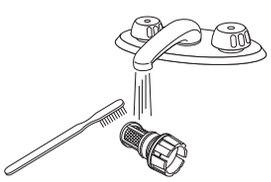


2 水抜き栓を外す

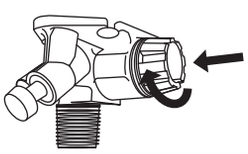




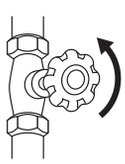
3 歯ブラシなどで洗う



4 元のように取り付ける



5 給水元栓を開ける

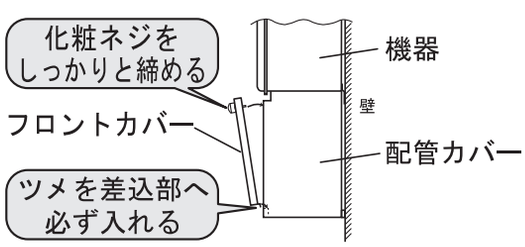


■点検・お手入れ後の確認

点検・お手入れ後はガス栓を開いて、**運転**ボタンを「入」にしてから給湯栓を開き、機器が正常に作動していることを確認してください。万一、異常な燃焼・臭気・音を感じられたときは使用を中止し、ガス栓を閉じてお買い上げの販売店かパロマへご連絡ください。

配管カバー(または据置台)のフロントカバーについて

配管カバー(または据置台)のフロントカバーを外した場合、作業終了後には、必ず外したカバーを元のとおり取り付けてください。
①カバー下部のツメを差込部へしっかり差し込み、外れないことを確認。
②化粧ネジを確実に締める。



お願い
- ●循環口フィルターは必ず取り付けてご使用ください。
  循環口フィルターを付けないで運転すると、ポンプ等の故障の原因となります。
- ●給水口フィルターを外すと水が出ます。
  水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。
- ●再使用するときは、水抜き栓を元どおりに確実に閉じてください。閉じかたが不十分だったり閉じ忘れたりすると、そこから水漏れします。
- ●別売のユニットを取り付けている場合、ユニットに付属の取扱説明書も併せてご覧ください。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思っても、よく調べてみると故障ではない場合もあります。まずは次の点を確認してください。

こんなとき	ここを調べてください
リモコンの画面に表示が出ない	省電力待機中ではありませんか 電源プラグがコンセントに差し込まれていますか (→P.13) 停電していませんか (→P.6)
音声が出ない 音声が小さい 音声がこもる	音量が無音声や無音になっていませんか (→P.15) 音量の調整は適切ですか (→P.15) スピーカーに水(湯)がかかっていませんか
エラーコード「032」「252」「562」が点滅し、動作しない	給水元栓が全開になっていますか (→P.13) 断水していませんか (→P.5) おふろの排水栓はしっかりはまっていますか 追いだきスイッチを5秒以上長押ししませんでしたか
が点灯しない お湯が出ない	ガス栓が全開になっていますか (→P.13) 給水元栓が全開になっていますか (→P.13) 断水していませんか (→P.5) 給湯栓が十分開いていますか 給水口フィルターが詰まっていませんか (→P.48) 浴槽に水(湯)が入っていますか(追いだき運転時) 循環口フィルターが詰まっていませんか(ふろ使用時) (→P.48)
高温のお湯が出ない	給湯栓が十分開いていますか 温度調節は適切ですか シングルレバー式・2ハンドル式・サーモスタット式混合水栓を使用し、高温のお湯が出ない場合は、リモコンの給湯温度を60℃に設定してください
低温のお湯が出ない	温度調節は適切ですか 給水元栓が全開になっていますか (→P.13) 給湯栓が十分開いていますか 給水口フィルターが詰まっていませんか (→P.48)
浴槽の水があつい(ぬるい)	ふろ温度の設定は適切ですか 循環口フィルターが詰まっていませんか (→P.48)
浴槽のお湯が少ない(多い)	ふろ水位の設定は適切ですか 循環口フィルターが詰まっていませんか (→P.48)
暖房がきかない(ききが悪い)	ガス栓が全開になっていますか (→P.13) 暖房端末機器の温度設定は適切ですか 床暖房は暖まるまでに時間がかかる場合があります

それでもわからないときはアフターサービスをお申し付けください。

故障かな？と思ったら

■こんなときは故障ではありません

こんなとき	こんなことが考えられます
給湯栓を絞りすぎて水になった	この機器は通水量が約2.5ℓ/分以下になったときには消火します。
夏期水温が高いとき低温のお湯が出ない	夏期など、水温が高いときに低温のお湯を少量得ようとすると、湯温が高くなります。給湯栓をもっと開いて出湯量を多くすれば湯温は安定します。
給湯栓を開いてもすぐにお湯が出てこない	機器から給湯栓までは距離がありますので、お湯が出てくるまでには少し時間がかかります。
給湯使用中にお湯の量が変化する	お湯を使用中、他の場所でお湯を使用したり、「追いだき」運転をすると、お湯の量が減る場合があります。
給湯栓を開けたときお湯の量が変動する	湯温を安定させるために自動的に湯量を調整しています。すぐに湯量は安定します。
お湯が白く濁って見える	これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ビール・サイダー等の泡と似た現象であり汚濁とは違って、まったく無害なものです。
浴槽、洗面台が青く見える	湯アカが残っていると、水中の微量の銅イオンと化合して青く変色することがあります。掃除はこまめに行ってください。
給湯使用中や給湯終了後しばらくの間、コトコトと音がする	お湯の温度を安定させるためにモーターを動かしているときに発生している音で、故障ではありません。
出湯停止後しばらくファンの回転音がする	再使用時の点火をより早くするため、しばらくの間は回転しています。
ふろ自動ボタンを押した後お湯入れがときどき停止する	浴槽の中に正確にお湯入れをするための動作です。
おふろを使用していないのに浴槽の循環口よりお湯(水)が出る	お湯を使用すると機器内が温まり、配管に残っている水が循環口から出る場合があります。 凍結予防のためにポンプが回ったとき、配管に残っている水が(水滴または湯気となって)循環口から出る場合があります。
保温中ときどきポンプが回る	浴槽のお湯の温度を検知するため、およそ15～30分間隔で回ります。
運転終了後もしばらくポンプが回る	「ぬるく」・「ふろ自動」・「追いだき」・「たし湯」運転終了後、かくはんのためポンプがしばらく回ります。
ときどき水抜き栓から水が出る	水抜き栓がしっかり閉じていないと水漏れします。
追いだき時間が長くなる	追いだき運転中に給湯を使用したり暖房運転を行うと、追いだき能力が一時的に低下し、追いだきの時間が長くなることがあります。
暖房ポンプがときどき自動的に回る	エアー抜きをするためと、ポンプの固着を防止するための機能ですので故障ではありません。
床暖房の温度が低くなったり、浴室暖房乾燥機の温風温度が低下することがある	床暖房や浴室暖房乾燥機を使用しているときに給湯や追いだき運転を行うと、暖房能力が一時的に低下して床暖房の温度が低くなったり、浴室暖房乾燥機の温風が低下したりする場合があります。
床暖房を使用していないのに床が暖まることがある	暖房回路内にたまった空気を抜くために、約1ヶ月ごとにポンプが自動的に周ります。このときに他の端末機器(浴室暖房等)を使用していると、床の温度が一時的に若干上昇する可能性があります。
冬期など寒いとき追いだきのポンプが自動的に動く	凍結破損予防のため、ポンプが自動運転を行います。その際リモコンの画面に**F**を表示します。
寒い日排気口から白い湯気が出る	外気温が低いときには吐く息が白く見えるように、排気ガス中の水蒸気が白い湯気に見えます。これは故障ではありません。この機器は、二次熱交換器で熱を回収された燃焼ガスは温度が低く、また多くの水分を含んでいますので、白い湯気が出やすくなっています。
時計表示が合っていない	停電や電源プラグをコンセントから抜いた後の再通電時は、時刻表示が「--：--」の初期状態に戻りますので、時刻の再設定をしてください。

以上のことをお調べのうえ、なお異常のあるときはお買い上げの販売店かパロマへご連絡ください。

故障かな？と思ったら

■エラーコード表示について

機器に不具合が生じたとき、その原因をエラーコードでお知らせします。
エラーコードが点滅表示したときは、不具合の内容と表示されているエラーコードをお買い上げの販売店かパロマへご連絡ください。

エラーコード	内容	処置方法	使用状態
002	ガス供給なし浴槽残り湯有	――――	ふろ試運転
011	給湯60分以上連続使用	給湯栓を閉じて(リセット操作)	給湯
030	未対応ガス種選択	修理を依頼する	――――
032	注湯時間異常	浴槽の排水栓を確認後(リセット操作)	自動・追いだき
100	自己診断警告	修理を依頼する	給湯・ふろ自動・たし湯・追いだき・暖房
111	給湯側点火不良	ガス栓確認後(リセット操作)	給湯・ふろ自動・たし湯
113	暖房・追いだき側点火不良		ふろ自動・追いだき・暖房
121	給湯側失火		給湯・ふろ自動・たし湯
123	暖房・追いだき側失火		ふろ自動・追いだき・暖房
140	空だき安全装置作動	修理を依頼する	給湯・ふろ自動・たし湯・追いだき・暖房
	元ガス電磁弁回路不良		給湯・ふろ自動・ぬるく・たし湯・追いだき・暖房
170	補水弁異常		――――
	熱交漏洩検知		
173	暖房回路漏水異常		給湯・ふろ自動・追いだき・暖房
252	ふろ水流SW異常		ふろ自動・ぬるく・たし湯・追いだき
290	中和器詰まり		給湯・ふろ自動・たし湯・追いだき・暖房
300	外気温サーミスタ断線		給湯・ふろ自動・ぬるく・たし湯・追いだき・暖房
311	出湯温サーミスタ断線		給湯・ふろ自動・ぬるく・たし湯・追いだき・暖房
312	ふろサーミスタ断線		給湯・ふろ自動・ぬるく・たし湯・追いだき・暖房
313	高温サーミスタ断線		給湯・ふろ自動・ぬるく・たし湯・追いだき・暖房
321	入水温サーミスタ断線		給湯・ふろ自動・ぬるく・たし湯・追いだき・暖房
331	混合温サーミスタ断線		給湯・ふろ自動・ぬるく・たし湯・追いだき・暖房
343	タンク出サーミスタ断線		給湯・ふろ自動・ぬるく・たし湯・追いだき・暖房
390	自己診断フレームロッド断線		給湯・ふろ自動・たし湯・追いだき・暖房
422	注湯量センサー異常		ふろ自動・ぬるく・たし湯

エラーコード	内容	処置方法	使用状態
433	暖房水位検出異常	修理を依頼する	給湯・ふろ自動・ぬるく・たし湯・追いだき・暖房
510	元ガス電磁弁故障		給湯・ふろ自動・たし湯・追いだき・暖房
513	ガス電磁弁故障		給湯・ふろ自動・たし湯・追いだき・暖房
543	暖房回路漏水異常		給湯・ふろ自動・ぬるく・たし湯・追いだき・暖房
562	注湯電磁弁異常		ふろ自動・ぬるく・たし湯
610	燃焼ファン回転異常		給湯・ふろ自動・たし湯・追いだき・暖房
623	暖房ポンプ異常		給湯・ふろ自動・たし湯・追いだき・暖房
632	ふろポンプ異常		ふろ自動・たし湯・追いだき
650	高温分配弁異常		給湯・ふろ自動・ぬるく・たし湯・追いだき・暖房
651	水制御弁異常		――――
661	ミキシング弁異常		――――
700	電装基板故障		――――
	ガス比例弁駆動回路異常		給湯・ふろ自動・たし湯・追いだき・暖房
710	ガス電磁弁駆動回路故障		給湯・ふろ自動・たし湯・追いだき・暖房
711			
720	プリ・ポスト異常		給湯・ふろ自動・たし湯・追いだき・暖房
740	給湯リモコン通信異常		――――
750	ふろリモコン通信異常		――――
763	端末通信異常	点検を依頼する	暖房・各端末との通信
900	機器燃焼異常	修理を依頼する	給湯・ふろ自動・たし湯・追だき・暖房
903	給気汚染異常		給湯・ふろ自動・たし湯・追だき・暖房
920	中和器異常		給湯・ふろ自動・たし湯・追だき・暖房
930	中和器寿命		給湯・ふろ自動・たし湯・追だき・暖房
990	自己診断燃焼異常		給湯・ふろ自動・たし湯・追だき・暖房

(リセット操作) 運転 入/切 を一度「切」にし、5秒以上経過してから、運転 入/切 を「入」にする。

〔ふろリモコン〕

番号によっては、給湯やふろ温度表示部に補足の番号が出ることがあります。
ご連絡の際は、エラーコードと併せてお知らせください。

〔給湯リモコン〕

簡易表示のため、エラーコードのみを点滅表示します。

ご注意ください

- エラーコード“920”が表示されたときは、中和器の交換が必要なため、修理を依頼してください。機器はしばらく使用できますが、リモコンのエラーコードは点滅したままです。点滅時は、リモコンの給湯温度が表示されませんので、湯温を確かめてから使用してください。
  エラーコード“930”が表示されたときは、中和器の交換が必要なため、修理を依頼してください。機器の使用はできません。

メモ

- エラーコード“100”が表示されたときは、燃焼状態を自己診断し、良好な燃焼を維持できない場合にお知らせする警告表示です。“100”の警告表示が点滅しているときに機器を使用することはできますが、機器の燃焼が悪化している状態でそのまま使用し続けると、最終的に安全装置がはたらいて“990”・“903”のエラーコードを表示し、機器の使用ができなくなりますので、エラーコード“100”が点滅したときは、修理を依頼してください。
- エラーコード“111”・“121”が表示されたときは、給湯栓を閉じることにより、解除される場合があります。

仕様一覧

〔仕様表〕

項目			内容
品名			DH-GE2415APZL
型式名			DH-GE2415APZL
外形寸法			幅458×奥行250×高さ600
質量			37
種類	給湯方式		先止め式
	暖房方式		温水循環方式
	給排気方式		屋外強制排気方式
設置方式			屋外設置形
点火方式			AC100V 連続放電式(ダイレクト着火)
水圧	使用水圧		80～750kPa(0.8～7.5kgf/㎠)
	最低作動水圧		10kPa(0.1kgf/㎠)
最低作動水量	給湯		3.5ℓ/分
	暖房		0ℓ/分以上(締切り使用可)
	ふろ		3.8ℓ/分
接続	ガス		20A(R3/4オネジ)
	給水・給湯		20A(R3/4オネジ)
	暖房	低温往き	CCHジョイント
		高温往き	CCHジョイント
		戻り	CCHジョイント
	ふろ		CCHジョイント
	ドレン		15A(R1/2オネジ)
電気関係	電源		本体電源　AC100V(50/60Hz)
	リモコン側		DC24V 以下
	消費電力	待機時	1.5W(ふろ・給湯リモコン取付時)
		同時使用	260W
		凍結予防作動時	340W
	リモコンケーブル		ふろリモコン2心、給湯リモコン2心
安全装置			ファン回転検出装置(燃焼ファン) 立消え安全装置(フレームロッド) 過圧防止安全装置(スプリング式) 空だき安全装置(バイメタル式) 空だき防止装置(水量センサ・水流スイッチ・水位電極) 過熱防止装置(温度ヒューズ) 漏電安全装置(漏電リレー) 誘導雷保護装置(サージアブソーバ) 凍結予防装置(凍結予防ヒータ・ポンプ運転) 過電流防止装置(電流ヒューズ) 沸騰防止装置(出湯温サーミスタ)

〔能力表〕

使用ガス 使用ガスグループ		1時間あたりのガス消費量kW {kcal/h}			出湯能力(最大)ℓ/分		能力kW {kcal/h}		ガス接続
		給湯・暖房同時使用	給湯(最大)	暖房	水温＋25℃上昇	水温＋40℃上昇	追いだき	暖房	
都市ガス	13A	50.0{43,000}	44.1{37,900}	20.2{17,400}	24.0	15.0	9.3{8,000}	17.4{15,000}	20A(R3/4)
	12A	46.6{40,100}	41.0{35,300}	18.8{16,200}	22.4	14.0	9.3{8,000}	16.1{13,900}	
LPガス		50.0{3.57kg/h}	44.1{3.15kg/h}	20.2{1.44kg/h}	24.0	15.0	9.3{8,000}	17.4{15,000}	

◎ガス：JISに規定する標準ガス、標準圧力のとき。
◎出湯能力は、水圧200kPa{2kgf/㎠}のときで、温度を高めに設定し、水と混合させることにより可能となる最大流量の計算値をいいます。
◎本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。

アフターサービスについて

点検・修理を依頼されるとき

●「故障かな？と思ったら」(→P.49～51)を見てもう一度確認していただき、それでも直らないときは、お買い上げの販売店かパロマサービスコールセンターへご連絡ください。パロマサービスコールセンターは24時間受付いたしますので、ご利用ください。。
なお、アフターサービスをお申しつけのときは右記の内容をお知らせください。

1. ご住所・ご氏名・電話番号
2. 現象(できるだけ詳しく)
3. 品名・型式名(銘板表示のもの)
4. ご購入日・ガス種
5. 道順

修理についてのお問い合わせは	パロマサービスコールセンター **0120-193-860**	受付時間：24時間修理受付

商品について不明な点はパロマお客様相談室までご連絡ください。

商品についてのお問い合わせは	パロマお客様相談室 **052-824-5145** 〒467-8585　名古屋市瑞穂区桃園町6番23号	受付時間：平日 8：30～18：00 (土・日・祝日・弊社指定定休日を除く)

お近くの下記サービスセンターでのお問い合わせも受付しております。
【各地区のサービスセンター】　受付時間：平日　9：00～18：30(土・日・祝日・弊社指定定休日を除く)

ご相談窓口	住所	TEL	FAX
北海道サービスセンター	〒001-0033 札幌市北区北33条西7丁目1－1	011-726-2822	011-736-7374
東　北サービスセンター	〒983-0041 仙台市宮城野区南目館20－10	022-239-1848	022-238-0838
首都圏サービスセンター	〒114-0015 東京都北区中里3－11－9太平中里ビル2階	03-6858-8600	03-6858-8601
中日本サービスセンター	〒467-8585 名古屋市瑞穂区桃園町6－23	052-824-5050	052-824-5385
近　畿サービスセンター	〒550-0013 大阪市西区新町3-13-20パロマアワザビル2階	06-6534-6751	06-6534-6755
中四国サービスセンター	〒732-0804 広島市南区西蟹屋3丁目8－12	082-262-8341	082-263-2400
九　州サービスセンター	〒812-0016 福岡市博多区博多駅南2－9－13	092-472-0924	092-471-8400

※住所・電話番号などは変更することがありますのであらかじめご了承願います。

保証について

●このガス風呂給湯暖房システムには保証書が付いています。
必ず「販売店名・購入日」等の記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
●保証書を紛失されますと、保証期間内であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
●保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

●この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の保有期間は製造打切り後10年です。
ただし、保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は有料で修理いたします。

転居または機器を移設される場合

●ガスの種類が、異なる地域へ転居される場合は、改造・調整の必要があります。お買い上げの販売店、または転居先のガス会社へご相談ください。
●増改築などのため機器を移設される場合、工事には専門の技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店かパロマへご連絡ください。
●設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きく伝わらないような場所をお選びください。
また、機器本体の排気口からの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。
●転居、移設にともなう調整や工事の費用は、保証期間内でも有料となります。

アフターサービスについて

長期間使用しない場合

●長時間使用しない場合は水抜きの操作をしてください。(→P.43)

お客様の個人情報の取り扱いについて

●当社はお客様よりおしらせいただいた、お客様のお名前・ご住所・電話番号などの個人情報をサービス活動および、安全点検活動のために利用させていただく場合がありますのでご了承ください。
●当社はお客様の個人情報を、下記の場合に除いて第三者へ開示・提供いたしません。
・修理やその確認作業を当社の協力会社に委託する場合
・法令に基づく業務の履行または権限の行使のために必要な場合
・その他の正当な理由がある場合
●当社はお客様の個人情報を適切に管理します。

BL 認定部品について

●優良住宅部品(BL 認定部品)は、住宅に設置する場所(適用範囲)を設定して認定基準などが規定されています。そのため、BL 認定部品を適用範囲外で使用される場合には、優良な部品としての性能が発揮できないことがあるとともに、優良住宅部品認定制度に基づく優良住宅部品(BL 認定部品)の適用が受けられなくなります。
※BL 認定品についてのお問い合わせは一般財団法人ベターリビング **TEL:03-5211-0680(お客様相談室)**までご連絡ください。

保 証 書

ガス風呂給湯暖房システム

DH-GE2415APZL

このたびは当社製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書はお客様の正常な設置･使用状態において万一機器本体が故障した場合には、本書の記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

≪無料修理規定≫

1. 取扱説明書、本体貼付けラベル等の注意書きに従った正常な設置･使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店か パロマが無料修理致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店かパロマにご依頼のうえ、本書をご提示ください。
   なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、パロマへご相談ください。
5. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。

（イ）取扱説明書によらないでご使用になったり使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
（ロ）お買い上げ後の取付場所の移動（取付工事依頼の必要な機器の場合）、落下等による故障および損傷
（ハ）公害、火災、水害、地震、落雷、凍結等の天災地変、ねずみ、鳥、くも、昆虫類の侵入、異常電圧（電気部品搭載の機器の場合）、供給事情（燃料・給水等）などによる故障および損傷
（ニ）一般家庭用以外（例えば、業務用使用、車輌、船舶への搭載等）に使用された場合の故障および損傷
（ホ） 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
（ヘ）消耗部品の取替えおよび保守等の費用
（ト）本書の提示がない場合
（チ）建築躯体の変形など機器本体以外の不具合に起因する当該機器の不具合、塗装の色あせ等の経年変化または使用に伴う摩擦等により生じる外観上の現象
（リ）海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する場合
（ヌ）給水・給湯配管の錆び等異物流入に起因する不具合
（ル）温泉水、井戸水、地下水などを給水したことに起因する不具合

6. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   （This warranty is valid only in Japan.）
7. 本書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

お客様	お名前	様
	ご住所　〒	
	お電話	
販売店	店名	
	住所	
	電話番号	

お買い上げ日	年　月　日

BL認定部品の保証期間	本体	お買い上げ日から2年間
	熱交換器	お買い上げ日から3年間

株式会社 パロマ
〒467-8585　名古屋市瑞穂区桃園町6番23号
TEL 052 (824) 5145

修 理 記 録

年　月　日	修 理 内 容	サービス員 ㊞

＊この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。なお、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店かパロマにお問い合わせください。
＊保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくはアフターサービス欄をご覧ください。